

平成28年度
事業報告書

社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会

《目 次》

□平成28年度 社会福祉法人枚方市社会福祉協議会 事業報告…………… 1～ 71

【社会福祉事業区分】

経理区分名	事業報告 (ページ)
1. 法人運営事業	2
2. 住民会費等事業	19
3. 助成事業	20
4. 共同募金配分金事業	24
5. 総合福祉センター管理運営事業	25
6. 小地域ネットワーク活動推進事業	28
7. ボランティア活動推進事業	32
8. 献血推進事業	36
9. コミュニティソーシャルワーカー配置事業	38
10. 福祉サービス利用援助事業	41
11. 精神保健福祉推進事業	42
12. 生活福祉資金貸付事業	45
13. 住宅改造助事業調査事務	46
14. 乳児家庭全戸訪問事業	47
15. 地域包括支援センター（こもれび）事業	48
16. 地域包括支援センター（ふれあい）事業	48
17. 居宅介護等事業	54
18. 移動支援事業	56
19. 父子家庭日常生活支援員派遣事業	58
20. くすの木園（生活介護）管理運営事業	58
21. 地域活動支援センター（ゆい）事業	60
22. 障害者活動支援事業	62
23. 共同生活援助事業	62
24. 介護予防ポイント事業	63
25. 成年後見等事業	64

【公益事業区分】

経理区分名	事業報告 (ページ)
26. 総合福祉会館管理運営事業	65

平成 28 年度 社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会 事業報告

私たちの暮らす地域社会では、少子高齢化の進行による単身家庭の増加などの世帯構造の変化や、認知症高齢者の増加、また社会情勢の変化・価値観の多様化に起因する経済的困窮やひきこもり、さらには孤立化など、多様な生活・福祉面での課題が頻在化している。

このような状況の中、本会は地域福祉の推進を図る中核的な団体として、「第 5 次地域福祉活動計画」および「経営戦略プログラム第 2 期」に基づいて、地域の各種団体や行政・関係機関等との円滑な連携を図りつつ、地域福祉の推進や生活課題に即した取り組みとして、次のような活動を重点的に行った。

1. 組織の基盤整備

①社会福祉法改正への対応

平成29年4月より施行される社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人の一層の公益性や透明性・地域貢献を図るため、定款や諸規程の変更、組織体制の強化等を行った。

②経営戦略プログラム(第 3 期)の策定

経営戦略プログラム(第 2 期)の進捗状況と評価を行うとともに、新たなニーズを踏まえた地域福祉活動や組織運営の強化について、今後の法人経営の方向を明らかにする「経営戦略プログラム(第 3 期)」(平成 29 年度～33 年度)を策定した。

2. 地域福祉活動

①アウトリーチによる相談支援の強化

個別相談支援を行うコミュニティソーシャルワーカー(CSW)と小地域ネットワーク活動として地域支援を行うコミュニティワーカー(COW)を兼務する地域担当職員の業務として、出張相談会を13カ所から15カ所に増加して相談機能の強化を図った。また、CSW による何でも相談を積極的な PR を実施したことで、相談件数が大幅に増加し、相談内容も複雑多様化したため、関係機関や校区福祉委員会、民生委員・児童委員等との連携を更に緊密にして、きめ細かな支援を行った。

②「元気づくり・地域づくり会議」の圏域基本事務を受託

「介護予防・日常生活支援総合事業」の第 2 層協議体として「元気づくり・地域づくり会議」が設置され、地域包括支援センター「社協こもれび」と「社協ふれあい」で、圏域基本事務を受託し、事務局事務を開始した。

3. 災害時への対応

①「よどがわ防災まつり(淀防)」の開催

枚方市・枚方寝屋川消防組合・民間企業など21団体の協力を得て、「遊んで・学ぼう」をテーマに、災害時の支援体制づくりや防災への知識の啓発を目的とした「よどがわ防災まつり(淀防)」を開催した。

その他、ボランティア活動推進事業では、校区福祉委員会と連携し、担い手づくりのきっかけとなる講座を開催。地域活動支援センターゆいでは、障害のある人への偏見や差別をなくすためのシンポジウムを実施するなど、地域福祉の向上に取り組んだ。また、枚方市立総合福祉会館の指定管理(平成 28 年度～32 年度)を引き続き受託した。

1. 法人運営事業

法人運営事業においては、法人運営の要となる理事会、評議員会の運営をはじめ、専門部会（法人経営部会・地域福祉活動部会・在宅福祉サービス部会）を開催し、積極的に法人経営基盤の充実を図るとともに、地域支援体制などの強化に取り組んだ。

(1) 理事会開催状況

月日	場 所	内 容	出席数
5/23	ラポールひらかた 研修室 1	・平成27年度枚方市社会福祉協議会事業報告及び決算認定について ・理事候補者の評議員会提出について ・評議員委嘱の同意について ・平成28年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第1回）について ・組織会員の入会について ・社会福祉法の改正について（報告） ・第5次地域福祉活動計画の進捗状況について（報告） ・会長専決による各種規程の改正について（報告）	理事 監事 14人
9/16	ラポールひらかた 研修室 2	・法人経営部会の報告について ・社会福祉法人枚方市社会福祉協議会定款の一部改正について ・枚方市生活支援体制整備・運営事業「圏域基本事務」の受託について ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会ストレスチェック制度実施規程の制定について ・平成28年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第2回）について ・組織会員の入会について ・理事候補者の評議員会提出について ・評議員委嘱の同意について ・職員給与の見直しについて ・枚方市社会福祉協議会公募事業助成基金（市民ふくし活動チャレンジ基金）助成について ・歳末たすけあい募金運動について ・基金の取崩について ・基金・積立金について（報告） ・経営戦略プログラム（第3期）進捗状況について（報告）	理事 監事 15人
12/16	ラポールひらかた 研修室 2	・理事候補者の評議員会提出について ・評議員委嘱の同意について ・枚方市社会福祉協議会定款の全部改正について ・枚方市社会福祉協議会役員及び評議員の選任等に関する規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営規程の制定について ・枚方市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について	理事 監事 12人

		・枚方市社会福祉協議会定款変更に伴う各規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会居宅介護支援事業運営規程の廃止について ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会再雇用職員の給与等に関する規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会育児休業等に関する規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会介護休業等に関する規則の一部改正について ・平成28年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第3回）について ・枚方市立くすの木園（生活介護）運営規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会公募事業助成基金（市民ふくし活動チャレンジ基金）助成団体について ・基金・積立金について ・監査指導等について	
2/16	ラポールひらかた 研修室2	・在宅福祉サービス部会の報告について ・評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について ・枚方市生活支援体制整備事業について ・組織会員の加入について	理事 監事 15人
3/17	ラポールひらかた 研修室2	・部会の報告について（2部会） ・評議員選任・解任委員会による評議員選任結果について ・枚方市社会福祉協議会定款細則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会役員及び評議員の選任等に関する規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会常勤役員の報酬等に関する規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会就業規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正について ・社会福祉協議会早期退職制度に関する規程の廃止について ・平成28年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第4回）について ・平成29年度歳末たすけあい募金配分金事業（案）について ・経営戦略プログラム（第3期）について（報告）	理事 監事 15人

(2) 部会開催状況

①法人経営部会

月日	場 所	内 容	出席数
3/6	ラポールひらかた 特別会議室 1	・平成 29 年度歳末たすけあい募金配分事業について ・社会福祉充実計画について ・経営戦略プログラム（第 3 期）について	6 人
8/25	ラポールひらかた 特別会議室 2	・公募事業助成基金(市民ふくしチャレンジ基金)について ・社会福祉法改正に伴う検討事項について ・平成 29 年度歳末たすけあい募金配分事業について ・介護予防・日常生活支援総合事業について	5 人

②地域福祉活動部会

月日	場 所	内 容	出席数
3/3	ラポールひらかた 特別会議室 2	・平成29年度歳末たすけあい募金配分事業について ・成年後見等事業について ・第 5 次地域福祉活動計画「福祉のまちづくり円卓会議」について（報告）	5 人

③在宅福祉サービス部会

月日	場 所	内 容	出席数
1/26	ラポールひらかた 特別会議室 1	・くすの木園の現状と防犯カメラの設置について ・グループホームの現状報告(スプリングラーについて)	4 人

(3) 評議員会開催状況

月 日	場 所	内 容	出席数
5/27	枚方市民会館 第4会議室	・平成 2 7 年度枚方市社会福祉協議会事業報告及び決算認定について ・理事の選任について ・平成 2 8 年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第 1 回）について ・社会福祉法の改正について ・第 5 次地域福祉活動計画の進捗状況について（報告）	評議員 2 5 人 理事 監事 1 2 人
9/27	ラポールひらかた 研修室 1	・社会福祉法人枚方市社会福祉協議会定款の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正について ・理事の選任について ・枚方市社会福祉協議会ストレスチェック制度実施規程の制定について ・平成 2 8 年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第 2 回）について ・職員給与の見直しについて ・基金・積立金について（報告）	評議員 2 2 人 理事 監事 1 4 人
12/22	ラポールひらかた 研修室 1	・理事の選任について ・枚方市社会福祉協議会定款の全部改正について ・枚方市社会福祉協議会役員及び評議員の選任等に関する規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営規	

		程の制定について ・枚方市社会福祉協議会定款変更に伴う各規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会居宅介護支援事業運営規程の廃止について ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会再雇用職員の給与等に関する規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会育児休業等に関する規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会介護休業等に関する規則の一部改正について ・平成28年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第3回）について ・枚方市社会福祉協議会公募事業助成基金（市民ふくし活動チャレンジ基金）助成団体について（報告） ・基金・積立金について（報告）	評議員 28人 理事 監事 11人
3/28	ラポールひらかた研修室1	・枚方市社会福祉協議会定款細則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会役員及び評議員の選任等に関する規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会常勤役員の報酬等に関する規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会就業規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正について ・社会福祉協議会早期退職制度に関する規程の廃止について ・枚方市生活支援体制整備事業の受託について ・平成28年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第4回）について ・平成29年度枚方市社会福祉協議会事業計画及び予算（案）について ・基金・積立金について（報告）	評議員 27人 理事 監事 12人

（4）枚方市社会福祉協議会経営戦略プログラム（第3期）の策定（H29年度～H33年度）

第3期プログラムは、第2期プログラムで達成に至っていない事項や状況の変化による新たな課題を継承するとともに、これからの地域福祉のポイントとなる「地域共生社会の推進」のため、地域福祉活動を一層支援し、新たな担い手の掘り起こしに取り組み、また各関係機関との連携を強化し協力支援体制を充実させ、本会の組織の基盤強化や変貌する課題、制度の狭間にある課題に柔軟に対応できる組織と体制の再構築を図ることなどを内容として策定した。

○策定委員会 *委員：9人 *委員会開催数：10回

（5）公募事業助成基金（市民ふくし活動チャレンジ基金）助成事業

市民が自らの力で問題を解決していくことを支援するため、平成29年度公募事業助成基金「市民ふくし活動チャレンジ基金」の助成団体を募集。3件の問合せがあり、スタートアップ

の申請が2件、継続助成の申請が1件であった。

選考委員会での書類審査およびプレゼンテーションを実施した結果、1件のスタートアップ助成団体、1件の継続助成団体を決定した。

助成決定団体	内 容	金 額
宮之阪中央商店街振興組合 (スタート助成)	若者の就労準備支援事業を利用する中で、商店街のイベントなどのサポートをきっかけに社会復帰となるような連携事業と地域で引きこもりなどを抱える人などの相談事業も実施する。	500,000 円
ちいさいほいくえん みんなの里 (継続助成)	中学生以上の子どもを対象に学習支援も含めた子ども食堂の体制を整備し、平成29年度に月1回、平成30年度には月2回の開催をすることで、安定した子ども食堂の運営を目指す。	200,000 円 (2年間)

(6) 広報活動

①社協だよりの発行

号	発行日	印刷部数	号	発行日	印刷部数
132	6/1	184, 619	133	9/1	184, 686
134	12/1	184, 726	135	3/1	184, 833

※年4回発行、「広報ひらかた」と同時に、市内全戸配布

②社協紹介リーフレットの配布

社協の役割と実施事業をより市民にわかりやすく広報するために、リーフレットを作成。リーフレットは、関係各団体や住民会員募集時の自治会長、視察対応時等で配布した。

③社協公式ホームページの運営

公式ホームページによる情報発信を積極的に行った。

【アクセス件数 26, 095 (H28.4.1～H29.3.31)】

(7) 第6回 ひらかた社協ふくしフェスティバル

「第6回 ひらかた社協ふくしフェスティバル」を開催。本会が実施する各種事業の紹介やボランティア活動、福祉団体の活動を広く市民に広報するとともに、多くの市民のみなさまと「出会い・つながり・広がる」を合い言葉に各種催しを行った。

(日 時) 平成28年11月12日(土) 午前10時～午後3時30分

(場 所) ラポールひらかた

(主 催) 枚方市社会福祉協議会 (後 援) 枚方市

(参加者) 約1,500人

(内 容) *映画会「I Love スヌーピー」 *ミニステージ&ミニコンサート

*ふくし講演:「食の安全について ～自分の命は自分で守ろう～」

講師:元摂南大学薬学部教授 相本 太刀夫 氏

*模擬店および枚方社協啓発コーナー

*ボランティアグループ、各種団体の活動紹介 等

(8) 第37回枚方ふれあいフェスティバル

『みんなで築こう 壁のない社会を』をテーマに“障害のある人・ない人が共に手を取りあい、楽しく過ごしてもらえる”そんなふれあいの場になるように、枚方ふれあいフェスティバル実行委員会との共催で開催した。

(日 時) 平成28年6月5日(日) 午前10時～午後3時

(場 所) 枚方市民会館大ホール・岡東中央公園一帯

(参加者) 約3,500人

(主 催) 枚方ふれあいフェスティバル実行委員会、枚方市社会福祉協議会

(後 援) 枚方市、枚方市教育委員会、北大阪商工会議所、枚方フェスティバル協議会

(内 容) *映画会

「かいけつゾロリ うちゅうの勇者たち」

*特設ステージ(ダンス、ライブ、コーラス、ジャグリング、手話コーラス、その他)

*人形劇、ふれあいクッキー教室(市民会館)

*野外テント等での催し、各団体の活動紹介、相談コーナー、模擬店、その他

*企画コーナー、子ども広場、造形教室(紙すき・木工) 他

(9) 第28回枚方市健康・医療・福祉フェスティバル

健康・福祉推進都市宣言の趣旨を踏まえ、『見て、聞いて、体験して! 今日からみんなで健康づくり』をテーマに、市民の健康・医療と福祉に対する意識の高揚を図り、自ら健康づくりを実践する機運を高めることを目的に、「枚方市健康・医療・福祉フェスティバル」を開催。本会も主催者として参画した。

(日 時) 平成28年10月23日(日) 午前10時～午後3時30分

(場 所) ラポールひらかた

(主 催) 枚方市健康・医療・福祉フェスティバル実行委員会

(枚方市医師会、枚方市歯科医師会、枚方市薬剤師会、枚方市、枚方市社会福祉協議会)

(後 援) 枚方市教育委員会

(参加者) 延べ10,200人

(内 容) *体験型講座

*「健康を考えるポスターコンクール」作品展

*ノルディックウォーキング体験

*歯の検診コーナー、8020達成者表彰、健康医療相談、各種検診、診断、測定など

*からだど自然の恵み(薬草の展示と健康茶の試飲等)

*模擬店(福祉団体・福祉事業所・福祉施設が出店)

*ボランティア相談コーナー *手作りおもちゃのコーナー

(10) 善意銀行事業

①善意銀行金銭口座収支計算書

(単位:円)

収 入		支 出	
前年度繰越金	4,868,882	指 定 預 託 福祉施設団体等	130,000
一 般 預 託	0		
指 定 預 託	130,000		
預 金 利 息	52		
計	4,998,934	計	130,000

収入・支出残金 4,868,934円は、次年度へ繰り越し。

②善意銀行物品口座預託品目

ラーメン	600食	車いす	2台
タオル	238枚	モップ替え糸	196個
石鹸	238個	ティッシュペーパー	144箱
トイレットペーパー	16個	洗剤・文房具・手づくり祝い箸など	

※すべての物品について、高齢者施設・障害者施設等に配分した。

③善意の橋渡し物品

衣料品	2件	車いす	2件
介護用ベッド	4件	介護用品関係	5件
ポータブルトイレ（新品）	3件	その他	4件

(11) 枚方市民生委員児童委員協議会の運営支援

地域において、身近な地域福祉の担い手としての民生委員・児童委員の円滑な活動を支えることを目的に、枚方市民生委員児童委員協議会の事務局として運営支援を行った。

平成28年度は、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）や包括支援センター、各相談支援センター、市関係機関や団体等との連携調整を図った。また100周年記念準備委員会を設立し、平成29年度の100周年記念事業のスローガンである「人々に寄り添い、100年これからも」のもと、準備を進めた。

実 施 日	事 業 内 容
4月 4日	枚方市民生委員・児童委員委嘱状交付式
12日	新任民生委員児童委員研修会（枚方市）
14日	子育てサロン「ゆりかご」（樟葉・樟葉北） 11組参加
22～28日	役員会、校区委員長会 地区委員会
5月 6日	会計監査
10日	子育てサロン「ゆりかご」（樟葉南・樟葉西・船橋） 6組参加
12日	役員会、校区委員長会
13日	第67回大阪府民生委員児童委員大会
18日	認知症徘徊見守り訓練を市内45校区で実施
22～28日	地区委員会
6月8・9日	地区リーダー管外研修（名古屋市厚生院：名古屋市名東区）
14日	第3回 枚方市民生委員児童委員大会、研修会 講演「中途失明を乗り越えて 盲導犬デイリーと笑いを届ける嘶家」 講師 桂文太氏（落語家）
14日	「民生委員・児童委員の日」啓発活動 枚方市駅前・市役所前・市民会館大ホール前にて啓発資材1000個を配布
21日	子育てサロンゆりかご（蹠跽・蹠跽東・蹠跽西） 11組参加
18～28日	地区委員会
7月 5日	社会を明るくする運動街頭キャンペーンに参加協力
14日	役員会、校区委員長会
16～28日	地区委員会
26日	子育てサロンゆりかご（菅原・菅原東・長尾） 6組参加
27日	副会長研修会（府社会福祉協議会）
8月 2日	夏休み児童映画大会「ミニオンズ」 （2回上映 入場者数 1434人）
30日	全国主任児童委員研修会西日本（神戸市）

9月 8日	役員会・校区委員長会
9日	中堅民生委員児童委員研修（府社会福祉協議会）
13日	子育てサロンゆりかご（山田・山田東・交北） 14組参加
17～30日	地区委員会
10月 7日	大阪府民児協連「地域福祉部会・児童福祉部会」合同研修会
11日	子育てサロンゆりかご（桜丘・桜丘北・川越） 14組参加
13日	役員会、校区委員長会
20～21日	全国民生委員児童委員大会（香川県）
22～28日	地区委員会
11月10日	役員会、校区委員長会
12日	オレンジリボンキャンペーン（社協ふくしフェスティバルにおいて、 来場者に児童虐待防止啓発資材を配布）
15日	子育てサロンゆりかご（高陵・磯島・殿一・小倉） 6組参加
15日	主任児童委員連絡会 河北ブロック研修会（大東市）
16日	大阪府社会福祉大会
21～28日	地区委員会
12月 1日	枚方市民生委員・児童委員委嘱状交付式
2日	障害者週間啓発キャンペーンに参加協力
5日	退任者のつどい（市）
8日	役員会、校区委員長会
14日	新任民生委員児童委員及び主任児童委員研修（市）
15～25日	地区委員会
1月11・24日	大阪府新任民生委員・児童委員、主任児童委員研修会
13日	地区リーダー新年懇親会
19日	民生委員・児童委員、主任児童委員研修（市）
25日	大阪府民生委員・児童委員地区委員長研修
26日	大阪府民児協連河北ブロック連絡会総会
2月 1日	民生委員・児童委員、主任児童委員研修（市）
8日	小地域ネットワークリーダー研修会（府社会福祉協議会）
9日	役員会、校区委員長会、部会予算ヒアリング
14日	子育てサロンゆりかご（田口山・西長尾・藤阪） 5組参加
17日	校区委員長・地区委員長研修
22～28日	地区委員会
3月 9日	役員会、校区委員長会
21日	子育てサロンゆりかご（枚方・伊加賀・枚二） 8組参加
29日	役員会、校区委員長会 総会、研修会（市民会館大ホール） 「介護予防・日常生活支援総合事業」について 枚方市 健康部 長寿社会推進室 職員

①部会・主任児童委員連絡会開催状況（役員会・幹事会等除く）

ア）高齢者福祉部会

4月 5日 研修会 「認知症の方のためのサロンについて」

講師 枚方市老人介護者（家族）の会

5月10日 研修会 「地域包括支援センターと高齢者虐待について」

講師 高齢者サポートセンター社協こもれび

6月 2日 研修会「事例研修」

7月 7日 管外研修会 特別養護老人ホーム「健光園あらしやま」（京都市右京区）

- 9月 6日 講演会「高齢者の悪徳商法について」
講師 枚方市消費生活センター 相談員
- 10月 4日 ひとり暮らし老人会連絡会との交流会（参加者 102人）
- 11月 1日 施設見学 老人保健施設「美杉」・「老健ふじさか」
- 3月 9日 研修会 「介護保険制度について」講師 枚方市健康部 長寿社会推進室

イ) 広報部会

- 4月 1日 「民児協ひらかた」第130号発行（編集会議7回開催）
- 8月 1日 「民児協ひらかた」第131号発行（編集会議9回開催）
- 8月 9日 パソコン勉強会
- 9月16日 管外研修会 四條畷民児協 広報部との交流研修会
- 12月 1日 「民児協ひらかた」第132号発行（編集会議8回開催）
- 12月16日 パソコン勉強会

ウ) 生活福祉部会

- 4月 1日 研修会「生活福祉資金貸付制度について」社協地域福祉課
- 5月 6日 研修会「状況確認書について」
- 6月 3日 講演会「生活困窮者の支援制度について」
講師 神戸女子大学健康福祉学部 教授 松崎 喜良 氏
- 7月 1日 管外研修会 救護施設「フローラ」（東大阪市）
- 9月 2日 事例検討
- 10月 7日 グループ別事例発表
- 11月 4日 研修会「生活保護制度について」枚方市福祉部 生活福祉室
- 3月 3日 研修会「生活困窮者の緊急支援について」社協地域福祉課

エ) 児童福祉部会

「育児教室」（通年）、「ひよこ広場（未熟児教室）」（年2回 各4日）、「ひよこ講演会」（年1回）に参加協力

- 4月 6日 相互研修（事例報告）
- 5月11日 相互研修「保健センター保健師との交流・情報交換」
- 6月 1日 管外研修会 神戸市総合児童センター（こべっこらんど）
- 8月 2日 「夏休み児童映画大会」にて児童との交流活動
- 9月 5日 研修会（主任児童委員連絡会と合同研修）
「課題を抱える子どもたち・私たちにできること」
講師 NPO法人トイボックス スマイルファクトリー 杉村 千聖 氏
- 10月 5日 研修会「地域におけるこれからの子育て支援」
講師 公益社団法人 子ども情報研究センター 奥村 仁美 氏
- 3月 1日 相互研修「ひよこ広場について」枚方市保健センター

オ) 障がい者福祉部会

- 4月21日 管外研修会「バリアフリー2016」見学（大阪市住之江区）
- 5月 9日 研修会「車いす体験」講師 社協 地域福祉課
- 6月 4日 管外研修会「オムロン京都太陽」（京都市南区）
- 7月 7日 講演会「障がい者差別解消法について」
講師 パーソナルサポートひらかた・社協

- 9月 1日 研修会「障害者雇用の現状と障害者雇用促進法の概要について」
講師 ハローワーク枚方
- 10月22日 「くすの木まつり」に参加・協力
- 12月 2日 障害者週間啓発イベントに参加
- 2月 2日 研修会「三障害について～障害者の理解を深める～」
講師 障害者相談支援センターわらしべ
- 3月 5日 DVD研修 「精神障害者の社会参加について」
「聴覚障害者の災害時の対応について」

カ) 主任児童委員連絡会

- 4月 1日 子育てマップ発行（編集は前年度1～3月）
- 4月・9月 子育てマップ「地域情報紙」編集・発行
- 5月11日 第1回河北ブロック主任児童委員連絡会 代表者会議
- 6月 6日 研修会「枚方市の子育て支援施策について」
講師 枚方市子ども青少年部 参事兼部長 杉浦 雅彦 氏
- 6月15日 大阪府民児協連第1回主任児童委員連絡会議
- 7月 1日 第1回河北ブロック主任児童委員研修会
「青少年の非行防止について」 講師 四條畷警察署 舟木 剛 氏
- 7月11日 管外研修会 神戸真生塾
- 8月22日 南ブロック研修「ファミリーポートひらかた」
- 8月31日 中央ブロック研修「子育て広場さぷり」
- 8月30日・31日 全国主任児童委員研修会（西日本）
- 9月 5日 研修会（児童福祉部会と合同研修）
「課題を抱える子どもたち・私たちにできること」
講師 NPO 法人トイボックス スマイルファクトリー 杉村 千聖 氏
- 9月13日 第2回河北ブロック主任児童委員連絡会代表者会議
北ブロック研修「交野女子学院」
- 9月28日 東ブロック研修「枚方市立すぎの木園」
- 11月12日 社協ふくしフェスティバルに参加（オレンジリボンキャンペーン）
- 11月15日 第2回河北ブロック主任児童委員研修会
「教育委員会と主任児童委員との連携や現状について」
- 12月12日 大阪府民児協連第2回主任児童委員連絡会議
- 2月 3日 第3回河北ブロック主任児童委員研修会
「輝くいのち」 講師 NPO 法人 いのちの応援舎 山本 文子 氏
- 2月22日 平成28年度 大阪府社協 主任児童委員研修会
「子どもたちを取り巻くスマホやインターネット等 SNS の現状について
考える」 講師 一般社団法人 関西 ICT 協会

（12）枚方市赤十字奉仕団の運営支援

人間の命と健康、尊厳を守る人道の実現をめざす赤十字運動の推進を図るため、枚方市赤十字奉仕団の運営支援を行った。社員増強運動をはじめ、健康生活支援員養成講習の開催や地域における防災訓練等への日赤大阪府支部の職員の派遣調整や炊き出し用の釜の貸し出しなど、広く市民に赤十字活動を啓発することに努めた。

また、日赤大阪府支部が新しく開発した「防災・減災プログラム」による全体研修を行った。

① 奉仕団活動状況

・役員会 5/20、9/6、2/15

月日	場 所	内 容	出席数
4/1 ～ 3/31	市内全域	社員制度を基本とする赤十字の精神の周知を図るため 社資募集（募金）を実施 枚方市地区分 13,014,685円 府支部直送分 2,940,693円 利 息 27円 合 計 15,955,405円	396 分団
6/1	ラポールひらかた 研修室1	連合分団長会議 ・連合分団長の紹介 ・平成27年度事業報告及び平成27年度決算報告 ・平成27年度監査報告 ・平成28年度社資募集実施状況について ・平成28年度第1回地域赤十字奉仕団ボランティア基礎研修会について ・赤十字健康生活支援講習支援員養成講習会について	33人
6/13	ラポールひらかた 大研修室	全体研修（連合分団長・婦人部会・家庭看護部会） 日赤大阪府支部による防災啓発プログラムによる研修を実施。 第1部 講義 「巨大地震への備え～大切な人の”いのち”を守る～」 第2部 実技「AEDを使つての救急法」 講師：日赤大阪府支部福祉安全課 看護師 小山志保 氏 総務課長 中島 新作 氏 防災啓発プログラム普及担当 佐橋 良之 氏	65人
9/14	JICA関西 (神戸市中央区)	管外研修 独立行政法人国際協力機構 JICA 関西の施設において、国内の大規模地震だけでなく、海外展開支援の一環の災害等が頻発している現地活動に関する知識を得、今後の地域支援の考える機会とした。	18人
10/4 ～ 11/8	ラポールひらかた 研修室1	一般市民を対象に日常生活における介護の方法や家庭内における看護について赤十字健康生活支援講習支援員養成講習会を実施。	延べ 52人
10/7	ラポールひらかた 研修室1	連合分団長会議 ・平成28年度社資募集の中間報告について ・地域活動助成金（社資募集実績）について ・枚方市赤十字奉仕団体大会について ・連合分団長管外研修報告について	25人
12/7	メセナひらかた 大会議室	枚方市赤十字奉仕団大会 社長感謝状、金・銀有功章などを含む14人が日赤枚方市地区長から表彰状を授与された。 「熊本地震被災地への支援」をテーマに、日本赤十字社大阪府支部事業部 高田 知宏 氏に講演していただく。	63人

3/1	ラポールひらかた 研修室 1	連合分団長会議 ・平成 29 年度事業計画(案)・予算(案)について ・平成 29 年度社資募集に向けて ・平成 28 年度地域活動助成金について ・枚方赤十字奉仕団大会の報告について ・各事業活動報告について	30 人
-----	-------------------	--	------

②部会活動状況（役員会・定例会は除く）

ア) 婦人部会

月日	場 所	内 容	出席数
6/24	ラポールひらかた 研修室 1	・平成 28 年度婦人部紹介 ・平成 27 年度事業報告・決算について ・平成 28 年度事業計画・予算について ・夏期献血キャンペーンについて	19 人
7/26	ラポールひらかた 研修室 1	管内研修会 テーマ「熊本地震災害について」 講師 市民安全部 危機管理室 山口 友幸 氏 ・スライドを使用し、熊本の地震直後の被災地の状況等の説明をされた。 楽天体操 講 師 倉田 智栄子 氏	39 人
8/3	枚方市駅前 献血ルーム付近	献血事業 献血街頭キャンペーンを実施 (結果) 200ml 3人・400ml 19人 成分献血 37人 合計 59人	23 人
10/29 11/ 5	枚方市民会館 調理室	枚方市地域防災推進員研修会にあわせて、災害時の炊き出し訓練を実施。	延べ 48 人
1/17	ラポールひらかた 研修室 1	・平成 28 年度決算見込みについて ・炊き出し訓練報告について ・婦人部管外研修会について ・献血冬期街頭キャンペーンについて ・炊き出し訓練について	19 人
2/22	関西国際空港 (泉佐野市)	管外研修 関西国際空港航空保安区域の施設において、国内の大規模地震だけでなく、災害等時の対応に関する知識を得、今後の地域支援の考える機会とした。	40 人
3/1	枚方市駅前 献血ルーム付近	献血事業 献血街頭キャンペーンを実施 (結果) 200ml 11人・400ml 23人 成分献血 31人 合計 65人	24 人
3/12	市立ひらかた病院	平成 28 年度 災害医療訓練参加者への炊き出し	28 人

イ) 家庭看護部会

* 参加協力事業

健康生活支援講習支援員養成講習の講師サポート及び社資募金（街頭募金）

月日	場 所	内 容	出席数
4/ 5	ラポールひらかた 研修室 1	勉強会 三角巾の練習・応急手当（頭・腕・足・手首・耳他）	24 人
4/19	ラポールひらかた 研修室 1	定例会 ・健康生活支援講習資格継続研修	21 人
4/21	京阪枚方市駅周辺	熊本地震の街頭募金（127,052 円）	10 人
5/19	ラポールひらかた 研修室 1	定例会 ・講演会：熊本地震の現状と私たちにできること	27 人
6/ 7	ラポールひらかた 研修室 1	平成28年度赤十字社員増強運動に伴う、社資募集 の街頭募金及び啓発活動（14,274 円）	21 人
6/21	ラポールひらかた 研修室 1	定例会 ・講演：地域包括ケアシステムについて	21 人
7/ 5	ラポールひらかた 研修室 1	勉強会 ・枚方寝屋川消防組合見学	30 人
7/19	春日小学校区	定例会 ・講演：災害時における高齢者の生活支援について	28 人
9/ 6	ラポールひらかた 研修室 1	勉強会 社協ふくしフェスティバルの準備	20 人
9/20	ラポールひらかた 研修室 1	定例会 ・ベッドメイキングについて 講師：日本赤十字社 大阪府支部 福祉・安全課 小山 志保 氏	22 人
10/ 4	ラポールひらかた 研修室 1	勉強会 ・健康生活支援講習アシスタント	22 人
10/18	ラポールひらかた 研修室 1	定例会 ・講師：日本赤十字社 大阪府支部 福祉・安全課 小山 志保 氏	20 人
10/4	ラポールひらかた 大研修室	第6回ひらかた社協ふくしフェスティバル ・災害時における手当と準備（来場者 274 人）	22 人
11/3	春日小学校区	地域防災訓練のアシスタント ・避難所で役立つ知識と技術 ・車いす操作	11 人
12/6	ラポールひらかた 研修室 1	出前講座 「生涯現役を目指して元気なうちから始めよう、介護予防」 講師： 保健センター職員	22 人
12/10	淀川河川敷	よどがわ防災祭り	13 人
12/20	ラポールひらかた 保育室	定例会 ・（実技）移動介助 講師：日本赤十字社 大阪府支部 福祉・安全課 小山 志保 氏	26 人

29.2/7	大阪市 下水道科学館	管外研修 保安区域の施設において、国内の大規模地震だけでなく、災害等時の対応に関する知識を得、今後の地域支援の考える機会とした。	30人
2/21	ラポールひらかた 研修室1	定例会 ・包帯法（救急法） 講師：日本赤十字社 大阪府支部 福祉・安全課 小山 志保 氏	25人
3/21	ラポールひらかた 研修室1	定例会 ・災害時の生活支援について	22人

（13）枚方・交野地区保護司会の運営支援

保護司の職務を支援する組織として、枚方保護区(枚方市・交野市)を範囲に活動。定期事業の他に、更生保護関係組織（更生保護女性会・BBS会・協力雇用主会など）との連携支援、7月を強化月間とする「第66回社会を明るくする運動」の実施委員会の運営、準備・開催まで、全面的な運営支援を行った。

また、地域更生保護活動の拠点でもある「枚方・交野地区更生保護サポートセンター」を運営し、保護司の処遇活動の支援のほか、地域の教育・防犯・社会福祉関係機関や団体との連携、犯罪・非行の予防活動、更生保護関係の情報提供、住民からの各種相談に応えた。

*保護司数は、110人(平成29年3月31日現在)

① 定期事業（総会・定例会・研修事業など）

月日	場 所	内 容
4/19	ラポールひらかた	理事会・定例会・各部会 *社会を明るくする運動について *各部の活動について
5/10	ラポールひらかた	第66回社会を明るくする運動実施委員会
5/10	ラポールひらかた	監 査 *平成27年度 事業報告・決算
5/19	ラポールひらかた	決算総会・定例会 *平成27年度事業報告・決算 *管外研修について など
6/1~2	岡山刑務所 岡山少年院	管外研修（岡山県）
6/16	交野市立保健福祉 総合センター	第一期定期研修 『1号交通保護観察処遇要領について』 定例会 *退任、新任保護司紹介 *再任保護司委嘱状伝達 *社明運動について
6/22	ラポールひらかた	新任保護司研修（平成28年5月25日委嘱者） 『地区保護司活動につて』
7/9	サポートセンター	新任保護司懇談会(平成28年5月25日委嘱者)
7/21	ラポールひらかた	理事会・定例会・部会 *各部の報告について
8/24	交野市立保健福祉 総合センター	保護司会・更生保護女性会・BBS会・協力雇用主会合同研修会 『八尾地区における就労支援の現状と大阪府協力雇用主会連合会の今後の取組みについて』講師：田中 康正 氏 定例会 *管内研修について
10/12	交野市立保健福祉 総合センター	第二期定期研修 『刑の一部執行猶予について』(1) 定例会 *退任、新任保護司紹介 *再任委嘱状伝達 など
10/20	国際交流センター	大阪更生保護大会
10/25	ラポールひらかた	新任保護司研修（平成28年9月25日委嘱者） 『地区保護司活動につて』

11/15	京都刑務所 至徳会	管内研修 京都刑務所・至徳会（奈良県） 定例会 *大阪更生保護大会受賞者表彰伝達
11/19	サポートセンター	新任保護司懇談会(平成 28 年 9 月 25 日委嘱者)
12/15	交野市立保健福祉 総合センター	第三期定期研修 『刑の一部執行猶予について』(2) 定例会 *管内研修報告、互礼会等について
1/ 6	ひらかた仙亭	枚方・交野地区保護司会新年互礼会
2/15	交野市立保健福祉 総合センター	第四期定期研修『覚せい剤の薬理について』 講師：保護司 岩本 昌治 氏 定例会 *新任保護司紹介・再任保護司委嘱状伝達など
3/ 4	ラポールひらかた	新任保護司研修（平成 29 年 1 月 25 日委嘱者） 『地区保護司会活動について』
3/ 7	ラポールひらかた	理事会平成 29 年度事業計画・予算(案)
3/16	ラポールひらかた	予算総会・定例会 *平成 29 年度事業計画・予算(案)について
3/19	サポートセンター	新任保護司懇談会(平成 29 年 9 月 25 日・1 月 25 日委嘱者)

- ② 理事会（9回） 4/19、5/19、6/16、8/24、10/12、12/6、12/15、2/15、3/7、
 ③ 役員調整会議の開催(10回)4/14、5/13、6/7、7/13、8/10、10/6、11/8、12/6、2/7、3/7
 ④ 候補者検討協議会の開催(11回) [北部]4/20、8/31、11/30[中部]4/20、8/31、11/30
 [南部]4/27、11/24 [東部]4/14、11/24[交野]4/26

⑤ 更生保護啓発活動

月日	場 所	内 容
5/10	ラポールひらかた	枚方・交野地区社会を明るくする運動実施委員会 *第 66 回社会を明るくする運動について
7/ 5	枚方市民会館 大ホール	第 66 回社会を明るくする運動 *式典 (参加者数：543人) *アトラクション 枚方幼稚園、更生保護女性会「なでしこコーラス」 関西外国語大学吹奏楽部・チアリーダー部 *街頭キャンペーン(絆創膏配布/15,800個/305人)
8/20～21	枚方市役所周辺	ひらかたまつり出展(社明運動キャンペーン) *アイスクリーム販売 *啓発風船、絆創膏配布(各2,200個) *矯正施設作品矯正展(更生保護女性会が協力出展)
9/17	交野市立保健福祉 総合センター	枚方・交野地区更生保護大会 *アトラクション 交野市立第三中学校吹奏楽部 *式典 *作文コンテスト *シンポジウム『地域でつくる安全・安心な社会づくり』 コーディネーター：大阪保護観察所所長 西岡 総一郎 氏 シンポジスト： 枚方・交野地区社会を明るくする運動実施委員長 黒田 実 氏(交野市長) 枚方・交野地区社会を明るくする運動実施副委員長 伏見 隆 氏(枚方市長) 交野警察署長 富岡 信隆 氏 交野市区長会会長 渡邊 省三 氏 枚方市コミュニティ連絡協議会 事務局長 中口 武 氏 枚方・交野地区更生保護女性会

		会長 北村 文子 氏 枚方・交野地区保護司会 会長 山本 卓也 氏 (参加者数：338人)
7月～9月	第66回社会を明るくする運動作文コンテスト(小中学生対象) (応募数：393点) 両市中学3年生に、社明運動ロゴ入りクリアファイル配布 (4,469枚)	

⑥ 関係団体との連携・懇談など

- ・関係団体 (9回) (4/11、4/17、5/23、6/7、6/16、6/28、7/11、10/12、11/29)
- ・学校との連携事業(22回)
交野第一中(4/20、10/19)、枚方第二中(7/11)、枚方第三中(7/11)、楠葉西中(7/12)
枚方第四中(7/12、11/28)、交野第四中(7/13)、長尾西中(7/15)、招提北中(7/19)
津田中(7/19)、蹉跎中(7/21)、桜丘中(7/22)、山田中(8/3)、招提中(8/22)
交野第三中(8/29)、長尾中(8/31)、渚西中(9/1)、中宮中(9/14)、杉中(7/12)、
東香里中(7/8、12/14)
- ・校区懇談会(8回)※中学校区毎に開催
津田中(4/22、5/2)、交野第四中(9/8)、枚方第二中(10/29)、枚方第四中(11/4、11/28)
蹉跎中(2/1)、枚方第三中(2/17)

⑦ 薬物乱用防止教室

氷室小学校(7/11) 6年生2クラス対象、招提小学校(2/20) 6年生2クラス対象

⑧ 広報活動

- ・機関紙「みのり」の発行 第80号(7/1)、第81号(1/1) (発行部数：各3,500部)
- ・ホームページの公開
- ・市広報等への掲載 広報ひらかた・かたの6月号 広報ひらかた・かたの9月号
広報かたの11月号

⑨ 放 送

- ・社会を明るくする運動 枚方市庁内放送・FMひらかた

⑩ 更生保護サポートセンターの運営

- ・名 称 「枚方・交野地区更生保護サポートセンター(ひらかた・かたの)」
- ・開館日時 サポートセンター(ひらかた) 火・水・木・土・日曜日の午前10時～午後4時
サポートセンター(かたの) 月・火・木・金・土曜日の午前10時～午後4時
(年末年始及び国民の祝日、その他会長が指定する日を除く)
- ・所在地 サポートセンター(ひらかた) サンプラザ1号館201号室
サポートセンター(かたの) 交野市役所別館2階
- ・開館状況：
□開館日数 329日 □企画調整保護司の従事者数 延べ811人
□対応件数 206件、 □来所者数 361人
- ・企画調整保護司会議(11回)
□ひらかた(4/22、6/24、8/26、10/28、2/24) □かたの(5/25、7/27、9/28、11/30、1/25、3/29)

(14) 枚方市社会福祉施設地域貢献連絡会の運営支援

市内の社会福祉法人が、連携・協力し、今日的な福祉課題の解決に向けた取り組みを行うことを目的に、「枚方市社会福祉施設地域貢献連絡会」が平成27年3月に結成。

今年度は、研修会の開催や啓発資料の作成、広報活動等を通じて、加入法人が分野を超えた横断的な情報交換等を行いながら、人権擁護、地域貢献活動に取り組んだ。

加入法人：54法人(平成29年3月31日現在)

① 総会の開催状況

月日	場 所	内 容	出席数
5/11	ラポールひらかた 大研修室 等	【総会】 ・第1号議案 平成27年度 事業報告について ・第2号議案 平成27年度 決算について ・第3号議案 平成28年度 事業計画(案)について ・第4号議案 平成28年度 予算(案)について	38法人 /56人
		【会員交流会】 総会終了後、会員相互の情報交換・懇談を行った	40人

② 役員会の開催状況

月日	場 所	内 容	出席数
4/12	ラポールひらかた 特別会議室1	・平成27年度事業報告及び決算報告について ・平成28年度事業計画(案)及び予算(案)について ・総会の開催について ・市町村社協地域貢献委員会情報交換会について(報告)	8人
5/11	ラポールひらかた 研修室1	・総会の開催について ・会員交流会について	8人
7/13	ラポールひらかた 特別会議室1	・アウトリーチ型研修の計画について ・啓発活動について ・研修会について	8人
9/12	ラポールひらかた 特別会議室1	・社協ふくしフェスティバルへの参加について ・啓発資材の作成について ・第1回研修会(アウトリーチ型研修)について ・第2回研修会(人権・一般職員向け)について ・年会費の納入状況について	8人
11/8	ラポールひらかた 特別会議室1	・啓発活動(社協ふくしフェスティバル)について ・第1回研修会(アウトリーチ型研修)について ・第2回研修会(人権・一般職員向け)について ・年会費の納入状況について	8人
12/22	ラポールひらかた 特別会議室1	・啓発活動(社協ふくしフェスティバル)について(報告) ・第1回研修会(アウトリーチ型研修)について ・第2回研修会(人権・一般職員向け)について ・年会費について	7人
1/26	がんこ寿司枚方店	・第1回研修会(アウトリーチ型研修)について ・職員向け人権研修について ・意見・情報交換など	8人
2/20	ラポールひらかた 特別会議室2	・第2回研修会について ・枚方市社協 組織会員への入会 について ・「地域貢献委員会(施設連絡会)」等の活動事例集作成にか かる状況調査(協力依頼)について ・平成29年度 総会について	7人

③ 研修会の開催

月日	場 所	内 容	出席数
12/22	ラポールひらかた 大研修室	【講演】 「地域貢献活動から見た災害への備えと 地域社会との関係づくり」 ～社会福祉法人がとりくむ地域貢献活動の視点から～ 【講師】 社会福祉法人 若竹会(岩手県) 事務局長 全国社会福祉法人経営青年会 副会長 菊池俊則氏	52人

2/20	ラポールひらかた 大研修室	【講演】 「子育て世帯の社会的孤立と社会的養護について」 【講師】 フリーランスライター 杉山 春 氏	61人
------	------------------	---	-----

④ 啓発活動の開催

月日	場 所	内 容	出席数
11/21	ラポールひらかた	「ひらかた社協ふくしフェスティバル」への参加 上記イベントに参画し、市民、関係福祉団体に対し、 啓発チラシとマスク（900部）を配布した。 加えて、連絡会及び高齢・障害・児童分野の活動紹介 を行う啓発パネルを展示し、啓発活動を実施した。	21人

⑤ 広報、啓発資材の製作

- ・連絡会紹介チラシ及びポスターの作成
- ・啓発マスクの作成（1,000部）
- ・展示用パネルの製作（連絡会、高齢、障害、児童ごとの活動を紹介するパネル4枚を製作）

2. 住民会費等事業

社会福祉協議会の自主性を高め、行政の福祉施策とは違った住民主体の地域福祉活動を進めるために、校区福祉委員会を窓口として、校区コミュニティ協議会や自治会等の協力により、住民会員の募集を行った。集まった会費は、校区福祉委員会の活動助成をはじめ、ボランティア活動支援や社協だよりの発行など、誰もが住みよいまちづくりの推進を図るために活用した。

（1）組織会員状況

社会福祉協議会が地域福祉推進の中核として機能できる組織づくりを目的とした組織会員は、本会の基本的な構成員で、本会事業運営に参画する団体・機関であり、積極的な加入促進を行うとともに、組織会員を対象とした研修会を年2回行った。

◎組織会員数 168団体（平成29年3月31日現在）

①組織会員研修

「地域における他職種連携・地域貢献について」

制度のはざまに孤立している人たちを支援するための組織「滋賀の縁創造実践センター」の事例を通して、地域団体や福祉施設、民間企業などの他職種との連携について学んでもらうことを目的に実施した。

（日 時）平成28年12月6日（火）午前10時～12時

（場 所）ラポールひらかた 4階 大研修室

（講 師）同志社大学 社会学部 社会福祉学科 准教授 野村 裕美 氏

（参加者）88人

「認知症の人を地域で支える権利擁護の仕組みを知る」

～福祉サービス利用援助事業と成年後見制度について～

市民、組織会員を対象に成年後見等事業との共催にて実施した。

（日 時）平成29年2月13日（月）午後1時30分～3時

（場 所）ラポールひらかた 4階 大研修室

（講 師）種智院大学 社会福祉学科 教授 明石 隆行 氏

（参加者）112人

(2) 社協会員募集状況

7月を会員募集推進月間として、会員を募集

会 員 種 別	会 員 数	詳	細
住 民 会 費	23,850人	25,920口	12,960,000円
特別住民会員	2人	2口	40,000円
法人賛助会員	117法人	138口	1,380,000円
福祉協力金			5,806,234円
		総 計	20,186,234円

(会費の使い道)

校区福祉委員会活動助成（45校区）	9,811,534円
校区福祉委員会協議会運営費	373,090円
ボランティアアドバイザー活動助成	1,393,500円
ひらかた社協だより印刷配布費	6,750,059円
社協紹介リーフレット作成費	142,560円
ボランティア活動推進	880,000円
住民会員募集事務経費	955,662円
合 計	20,306,405円

※不足分 120,171円については、前年度繰越金を使用

3. 助成事業

(1) 枚方市福祉団体連絡会の活動支援

①連絡会の開催（総会1回、連絡会10回 計11回）

月日	場 所	内 容	出席数
4/25	ラポールひらかた 特別会議室	・平成27年度事業報告・決算について ・第1回 交流会の報告について ・総会について	10人
5/19	ラポールひらかた 研修室1	〔 総 会 〕 ・平成27年度事業報告・決算・監査報告 ・平成28年度事業計画（案）・予算（案） ・研修会 テーマ「介護保険制度について」 講 師 枚方市長寿社会推進室 介護認定担当係長 林山 貴子 氏	39人
6/16	ラポールひらかた 特別会議室	・管外研修について ・福祉団体活動助成金について ・対市要望について	11人
7/11	ラポールひらかた 特別会議室	・管外研修について ・管内研修について ・会計処理状況の確認について ・福祉団体活動助成金について ・対市要望について	10人
8/22	ラポールひらかた 特別会議室	・要望書について ・管内研修について	11人

9/12	ラポールひらかた 特別会議室	・啓発事業について ① 10/27 ハロウィン啓発活動 ② 12/2 障害者週間キャンペーン ③ 10/23 枚方市健康・医療・福祉フェスティバル ④ 11/12 ひらかた社協ふくしフェスティバル	10人
10/3	ラポールひらかた 福祉団体ルーム共用 ルーム	・障害者啓発キャンペーン(12/4)に向けての啓発活動 について ・「障害者週間」啓発事業について ・枚方市健康・医療・福祉フェスティバルについて ・要望書回答会について	9人
11/16	ラポールひらかた 特別会議室2	・「障害者週間」啓発事業について ・要望書回答会について ・交流餅つき大会について ・交流会について	10人
12/12	ラポールひらかた 特別会議室	・要望書回答会について ・交流餅つき大会について ・交流会について	10人
1/18	ラポールひらかた 特別会議室	・交流餅つき大会について ・交流会について ・さわやかカフェについて ・平成29年度事業予定について	11人
2/22	ラポールひらかた 特別会議室	・平成29年度事業計画(案)・予算(案)について ・平成29年度 第1回交流会について ・民間バス借上料補助金の交付申請について ・平成28年度事業報告・決算、平成29年度事業計画 予算の提出について	12人

②企画委員会の開催 (年間12回 連絡会役員5人)

連絡会の案件調整及び主催事業の企画・検討を行った。

【開催日】4/4、5/16、6/10、7/4、8/1、8/8、9/8、9/26
10/27、1/10、2/13、3/10

③認知症カフェ準備会の開催

カフェ実施に向けて内容等の検討を行った。【開催日】9/30、10/3、10/19

④各種事業の開催

月日	場 所	内 容	参加数
4/8	京都市	第1回 交流会 八つ橋庵かけはし・金閣寺・西陣織会館	41人
7/20	奈良県高市郡	管外研修 ・養護盲老人ホーム「慈母園」	39人
9/14	ラポールひらかた ミーティングルーム 1・2	会計研修「会計の重要性・日々の会計処理について」	30人
10/27	枚方市駅周辺	障害者啓発キャンペーン(12/2)に向けて啓発活動 ハロウィンの仮装をし啓発用ティッシュおよびメモ帳を配布	36人
10/23	ラポールひらかた 円形広場	枚方市健康・医療・福祉フェスティバルでの啓発活動 内容：活動紹介パネル設置 来場者に啓発用ティッシュ・メモ帳を配布	

11/12	ラポールひらかた	ひらかた社協ふくしフェスティバルでの啓発活動 内容：活動紹介パネル設置 来場者に啓発用ティッシュ・メモ帳を配布	
12/ 2	枚方市駅周辺 ラポールひらかた 大研修室	障害者週間啓発キャンペーン 内 容 午前：枚方市駅ロータリー付近で啓発用ティッシュ・メモ帳を配布 午後：講演会 テーマ「ぼくの妻は認知症 夫婦の絆」 講 師 枚方市老人介護者（家族）の会 理事 外山 努 氏 アトラクション テーマ「子どもたちのSOSがきこえますか」 出 演 とれぶりんか劇団&とれぶりんか ミュージッククラブ ※イベント参加者に啓発用ティッシュ・メモ帳を配布 ※枚方市民生委員児童委員協議会の協力で開催	午前 45人 午後 91人
12/26	ラポールひらかた 大研修室	対市要望回答会	42人
2/9	ラポールひらかた	・第2回 交流会 交流餅つき大会 ※ボランティアグループ連絡会の協力で開催	120人
2/15	大阪市	・第3回 交流会 大阪城梅林園・BK プラザ（NHK 大阪放送局）	36人

⑤ 健康・医療・福祉フェスティバル開催に協力：模擬店出店 3団体

⑥ 社協ふくしフェスティバル開催に協力：模擬店出店 3団体

（２）ひとり暮らし老人会連絡会の活動支援

校区福祉委員会や民生委員児童委員協議会の援助のもとに結成された、ひとり暮らし老人会の連絡調整を図り、校区福祉委員会・社会福祉協議会及び関係機関・団体との連携を密にし、組織の充実・強化とひとり暮らし老人の福祉向上を目的として、次のような活動を推進した。

【ひとり暮らし老人会設置状況】 平成29年 3月31日現在

当該校区福祉委員会数	設置数	会員総数
45校区	41会	1,356人

①連絡会の開催状況

1) 役員会 4/20、5/18、6/15、7/20、8/31、9/21、10/12
11/16、12/21、1/18、2/14、3/15 計12回

2) 全体会

月日	場 所	内 容	出席数
5/25	ラポールひらかた 研修室1	・平成27年度事業報告・決算報告について ・平成28年度事業計画（案）予算（案）について ・会長・役員研修会（管内・管外）について	41人

10/12	ラポールひらかた 研修室 1	・平成 28 年度上半期事業報告について ・平成 28 年度下半期事業予定について ・管外研修について	40 人
2/14	ラポールひらかた 研修室 1	・平成 28 年度決算見込みについて ・広報誌について ・交流研修会について	37 人

②研修会の開催状況

1) 会長・役員研修会（管内研修）

月日	場 所	内 容	出席数
9/7	ラポールひらかた 大研修室	テーマ 「これだけは知っておきたい！成年後見制度と遺言書」 講師 司法書士 山形 浩隆 氏	96 人

2) 会長研修会（管外研修）

月日	内 容	出席数
11/11	研修先：京都西本願寺、京都鉄道博物館	37 人

3) 全体研修

月日	場 所	内 容	出席数
3/10	ラポール ひらかた 大研修室	映画「超高速!参勤交代」（1 回上映）	118 人

4) ブロック別交流・研修会

月日	場 所	内 容	出席数
10/17	ラポールひらかた 大研修室	【Aブロック（9 会）】 ・講演「防犯対策について」 ・アトラクション（ハーモニカ四重奏）	87 人
10/27	ラポールひらかた 大研修室	【Bブロック（7 会）】 ・講演 安全・安心のまちづくりについて ・南海トラフ地震について ・柔軟体操（身体のほぐらしえを行う）	56 人
11/17	ラポールひらかた 大研修室	【Cブロック（6 会）】 ・講演 振込詐欺について（婦人警官の寸劇） ・認知症予防運動・大正琴 ・リコーダー演奏（舞踊）	112 人
2/19	香里団地D地区 集会所	【Dブロック（5 会）】 ・アイリスによる健康体操 ・カラオケ	26 人
10/6	ラポールひらかた 大研修室	【Eブロック（5 会）】 ・演劇「わくわく音楽隊」 ・講演 介護保険制度について ・アトラクション（日本舞踊）	80 人

9/29	ポエムノール 北山集会所	【Fブロック（5会）】 ・講演 郷土枚方の歴史について ・アトラクション（ハンドベル演奏）	70人
11/29	津田生涯学習 市民センター	【Gブロック（3会）】 ・ビンゴゲームで脳トレ ・音楽療法（身体リフレッシュ）	54人

③関係機関・団体等との連携事業の状況

月日	場 所	内 容	出席数
10/ 4	ラポールひらかた 大研修室	民生委員児童委員協議会「高齢者福祉部会」との懇談会 (会員対象) 1. アトラクション（銭太鼓） 2. 交流会 各テーブルにて意見交換	102人 (内会員) 70人

④小学唱歌を歌う会「赤いベレー」

- 1) 月例開催状況 ・年間11回 1,157人（延べ人数）
主に、メセナひらかた大会議室及びラポールひらかた大研修室で活動
- 2) 主催行事 *友愛訪問：特別養護老人ホーム「聖徳園」（10月8日、37人）

4. 共同募金配分金事業

（1）赤い羽根共同募金（平成28年10月1日～平成29年3月31日）

自治会を窓口とした戸別募金、市内施設・病院等での募金箱の設置、法人募金・職域募金、学校募金等のほか、ボランティアグループ連絡会の協力を得て、京阪枚方市駅・樟葉駅周辺で街頭募金を実施した。また、今年度は関西外国語大学の協力を得て、街頭募金や啓発活動を行い、第6回ひらかた社協フェスティバルで街頭募金も行った。

募金総額 8,646,789 円

また、大阪府共同募金会より2,224,045円の配分があり、本会から枚方市内のボランティア活動・地域デイケア事業に対し助成を行った。

（2）地域歳末たすけあい募金の実施（平成28年12月1日～平成28年12月31日）

今年度より、実施主体を社会福祉協議会から枚方地区募金会と社会福祉協議会との共同実施に変更。それに伴い、今まで集めた募金をよりの確かつ有意義に活用できるよう当年度配分から次年度配分への体制を整えた。

募金総額 11,568,607 円

（募金の使い道）

（単位：円）

地域福祉活動支援助成	4,659,050 円
ひとり暮らし老人会運営助成	2,844,000 円
福祉活動助成事業（私立保育所・地域デイケア）	980,000 円
福祉団体活動助成	420,000 円
ボランティア活動助成	332,250 円
地域の居場所づくり助成	350,000 円
小規模災害助成（火災）	80,000 円
生活困窮者物資助成	51,574 円
ふれあいフェスティバル助成	400,000 円

障害者差別解消対策助成	10,000 円
社協あんしんカレンダー配布	1,878,080 円
よどがわ防災まつり等市民向けイベント助成	469,283 円
災害備品備蓄品	2,987,709 円
付帯経費	684,476 円
合 計	16,146,422 円

※不足分については、前年度繰越金を使用

5. 総合福祉センター管理運営事業

平成27～31年度の指定管理者として、枚方市総合福祉センターの管理運営を行った。

リニューアルオープンして2年目を迎え、より多くの皆さんに利用していただくことを目的に、センターで活動する団体の協力を得て、文化祭を開催。各同好会の作品展示・活動発表、イベントや活動体験等を通じて、市民が交流する場となった。

高齢者の健康と福祉の増進を図るため、趣味の講座、介護・福祉・健康講座、ボランティア講座、世代間交流事業、ラジオ体操、ひらかた元気くらわんか体操の実施や健康相談、生活相談を行った。また、施設内の設備を改善し安全確保を図ると共に、新設された足湯ではリフレッシュ効果が高まるようBGM・アロマを設置するなどサービス向上に努め、利用者の拡大を図った。

(1) センター・老人作業所受付等業務

①開所日数及び利用証発行件数

(単位：日／件数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開 所 日 数	26	26	26	27	26	26	26	26	24	24	24	27	308
利用証発行件数	703	199	125	95	72	89	124	58	46	56	264	118	1,949

※利用証発行内訳（高齢者 1,665、市民 120、作業所 164）

②施設利用状況

(単位：件／人)

福祉センター		
室 名	件数	利用者数(延)
大広間	179	3,829
第1和室	339	1,363
第2和室	99	869
第3和室	95	1,077
第1会議室	245	10,422
第2会議室	317	4,785
第3会議室	274	1,914
第4会議室	270	3,950
第5会議室	226	3,141
調理室	95	1,483
講座室	238	5,369
茶室	60	607
体育室(フリー)	213	8,871
体育室(卓球)	3,110	11,871

福祉センター		
室 名	件数	利用者数(延)
対局室	2,008	4,201
ビリヤード室	922	3,140
バンパー場	214	440
グラウンド	257	6,384
ラジオ体操	307	5,874
浴室	616	11,454
足湯	616	4,661
機能回復訓練室	1,232	25,474
計	11,932	121,179

老人作業所		
室 名	件数	利用者数(延)
老人作業所	542	5,147

③講座・行事開催状況

<趣味の講座>

(単位：回／人)

講座名	延開講数	延受講者数	講座名	延開講数	延受講者数
はじめての民謡	10	287	すっきりストレッチ &健康運動	10	251
簡単おしゃれな料教室	6	66	折り紙	8	79
やさしいヨガ体操	10	245	すっきりストレッチ &健康運動（作業所）	8	129
絵手紙	10	163	やさしいヨガ体操 （作業所）	8	96
切り絵	8	137			

<市民講座>

(単位：回／人)

講座名	延開講数	延受講者数	講座名	延開講数	延受講者数
ハワイアンフラ	10	230	ガンパルーン体操	8	112

<介護・福祉・健康講座>

(単位：人)

月日	内 容	参加者数
9/27	健康講座「介護予防の大切さを学びましょう」 健康体操「からだほぐし体操とながら体操でリフレッシュ」	41

<世代間交流>

(単位：人)

月日	内 容	参加者数
2/19	家族でグラウンドゴルフ	26

<シニアボランティア体験>

(単位：人)

月日	内 容	参加者数
2/16	講義「ボランティアってどんなもの」／実技 車いす体験	7

<ロビーコンサート>

(単位：人)

月日	回数	出演者	参加者数
4月	3	音楽でリフレッシュ、ハーモニカあすなろ会 HIRAKATA の爺	88
5月	1	ハーモニカあすなろ会	32
6月	5	HIRAKATA の爺、音楽でリフレッシュ、ハワイアンバンド J J&B B、ノロリン、ハーモニカあすなろ会	219
7月	1	ハーモニカあすなろ会	30
8月	3	オカリナ HAPPY、HIRAKATA の爺、ハーモニカあすなろ会	105
10月	2	ハーモニカあすなろ会、HIRAKATA の爺	91
11月	1	音楽でリフレッシュ	38
12月	3	オカリナ HAPPY、ハーモニカあすなろ会、HIRAKATA の爺	112
1月	1	ハーモニカあすなろ会	40
2月	1	HIRAKATA の爺	46
3月	1	ハーモニカあすなろ会	37

<文化祭>

日時：平成28年6月16日（木）～19日（日）

午前9時30分～午後4時 ※但し、19日（日）は午前9時30分～12時

主催：枚方市総合福祉センター、文化祭実行委員会

内容：

（1）展示の部（書道、水彩画、編み物、クレパス画、俳画など）

参加者数 延べ2,940人

（2）発表の部（社交ダンス、健康体操、カラオケ、茶会、フラダンスなど）

参加者数 延べ533人

（3）講習会・講座（折り紙、スポーツ吹き矢、いすヨガ、切り絵、カーリンコンなど）

参加者数 149人

（4）講演会 テーマ：世界遺産「魅力とそのあり様～そして平等院へ～」

講 師 平等院住職 神居 文彰 氏

日時：16日午後2時～4時 大広間

参加者数：106人

（5）落語 落語サークル なぎさの会

出演 渚家 円突 氏、渚家 どれす 氏

日時：18日 午前11時～12時 大広間

④バス送迎状況

（単位：回／人）

月	送迎回数	送迎人数	月	送迎回数	送迎人数	月	送迎回数	送迎人数
4	252	2,598	8	296	2,473	12	272	2,477
5	250	2,694	9	296	2,463	1	271	2,506
6	252	3,203	10	292	2,734	2	272	2,713
7	260	2,692	11	296	2,766	3	306	2,961
							計	3,315 回 32,280 人

福祉バス利用回数(回)		利用人数(人)	車いす(台)
長寿社会推進室	65	1,775	8
障害福祉室	13	287	41
ラポール	34	871	22
地域福祉課	18	534	37
合 計	130	3,467	104

⑤相談等事業

（単位：件）

内 容	実 績	件 数
生活及び健康に関する相談	生活相談 22 人 何でも相談（開設日12日）17 人 健康相談（血圧測定） 8,125 人	8,164
機能回復訓練の実施	ヘルストロン 17,349 人 ひらかた元気くらわんか体操・ラジオ体操第3 5,874 人	23,223

⑥運営委員会開催状況

（単位：人）

月日	内 容	出席者数
3/18	・平成28度福祉センター事業実施状況について ・平成29度福祉センター事業実施予定について	9

⑦啓発活動状況

- * ホームページを随時更新
- * 機関紙『ふれあいステーション』の発行
第 8 5 号 3,000 部（新春号）を作成し、センター利用者、関係機関、団体／施設等に配布
- * 各種事業の案内 広報ひらかた、社協だより、ホームページ等
- * 啓発用パンフレットの配布 一般、関係機関
- * 同好会等グループ活動の活性化
 - ・ センターの利用及び活動希望者にグループ活動を紹介
 - ・ 各団体からの依頼に応じ、活動紹介等を掲示
 - ・ スロープ壁面作品展示

⑧その他実施状況等

- * 利用者アンケート 2 月 1 5 日～3 月 1 4 日 回答数 8 2 9 件
- * 接遇・人権研修 5 月 1 6 日
- * 自衛消防訓練 1 2 月 2 0 日、3 月 1 8 日
- * 津田ふれあい地域教育協議会に出席

6. 小地域ネットワーク活動推進事業

高齢者・障害（児）者・子育て中の親子など、すべての人が地域で安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、たすけ合い活動を小地域で行う体制を構築することを目的とし、校区福祉委員会を中心に小地域ネットワーク活動を展開した。また、その活動を支える担い手の養成や研修、相互交流等の機会を積極的に開催した。

（1）校区福祉委員会協議会

①役員会開催状況

月日	場 所	内 容	出席数
4/27	ラポールひらかた 特別会議室 1	・ 平成 2 8 年度事務局体制について ・ 平成 2 8 年度住民会員募集について ・ 平成 2 7 年度校区福祉委員会協議会事業報告について ・ 平成 2 7 年度校区福祉委員会協議会関係決算報告について ・ 枚方市生活安全推進会議委員の委嘱について ・ 認知症徘徊見守り訓練について ・ 「こころとからだ生き生き教室」の開催について	7 人
9/9	ラポールひらかた 特別会議室 1	・ 平成 2 8 年度住民会員募集の中間報告について ・ ひらかた社協ふくしフェスティバルについて ・ 社協評議員の推薦について ・ 枚方市生活安全推進協議会委員の推薦について ・ 介護予防・日常生活支援総業事業について ・ 平成 2 8 年度赤い羽根共同募金について ・ 更生保護大会の参加について	9 人
12/7	ラポールひらかた 特別会議室 1	・ 平成 2 8 年度住民会員募集の中間報告について ・ 平成 2 8 年度歳末たすけあい募金について ・ ひらかた社協ふくしフェスティバルについて ・ 会長研修会について ・ 冬期献血街頭キャンペーンについて	8 人

		・災害ボランティアセンター設置運営シミュレーションについて ・活動者研修会について（報告） ・組織会員研修について（報告） ・CSW活動事例集について	
1/25	ラポールひらかた 特別会議室 1	・介護予防・日常生活支援総合事業 元気づくり・地域づくりプロジェクトの事業内容について ・枚方市社会福祉協議会評議員の選出について ・共同募金配分金事業について	9 人
3/15	ラポールひらかた 特別会議室 1	・平成 2 8 年度住民会員募集について（報告） ・平成 2 8 年度歳末たすけあい募金について（報告） ・平成 2 9 年度校区福祉委員会協議会事業計画(案)について ・平成 2 9 年度校区福祉委員会協議会関係予算(案)について ・認知症徘徊見守り訓練について ・平成 2 9 年度校区献血について ・「こころ」と「からだ」生き生き講座（出前講座）について（保健センター） ・いきいきサロン健康づくりサポーター養成講座アンケートについて（保健センター）	7 人

②全体会議開催状況

月日	場 所	内 容	出席数
5/10	ラポールひらかた 研修室 1	・平成 2 8 年度社協住民会員募集について ・平成 2 7 年度校区福祉委員会協議会事業報告について ・平成 2 7 年度校区福祉委員会協議会関係決算報告について ・第 3 次校区ふくしのまちづくり計画について ・いきいきサロン健康作りサポーター養成講座について	4 1 人
6/21	ラポールひらかた 研修室 1	・介護予防・日常生活支援総合事業 元気づくり・地域づくりプロジェクトの事業概要 ・枚方市献血ルームについて ・平成 2 8 年度共同募金・歳末たすけあい募金運動配分について ・いきいきサロン健康づくりサポーター養成講座について ・社会福祉協議会出前講座について	4 3 人
12/20	ラポールひらかた 研修室 1	・平成 2 8 年度住民会員募集の中間報告について ・平成 2 8 年度歳末たすけあい募金について ・冬期献血キャンペーンについて（報告） ・平成 2 8 年度大阪府小地域ネットワーク活動リーダー研修会について ・災害ボランティアセンター設置運営シミュレーションについて ・献血ポスターについて ・コミュニティソーシャルワーカー（CSW）活動事例集について	4 3 人
2/6	ラポールひらかた 研修室 1	・介護予防・日常生活支援総合事業について（長寿社会推進室） ・社会福祉協議会評議員の選任について（報告） ・平成 2 9 年度校区献血日程について	4 1 人

3/23	ラポールひらかた 大研修室	・平成28年度社協住民会員募集について（報告） ・平成28年度歳末たすけあい運動について（報告） ・平成29年度校区福祉委員会協議会事業計画（案）について ・平成29年度校区福祉委員会協議会予算（案）について ・校区福祉委員会活動に関する書類の提出について ・校区献血について ・ひとり暮らし老人会運営活動助成金に関する書類提出について ・認知症徘徊見守り訓練について	43人
------	------------------	---	-----

③各エリア会議開催状況

ア) 北エリア会議

月日	場 所	内 容	出席数
8/4	ラポールひらかた 研修室1	【会議】 ・平成28年度北エリア管外研修会について ・各校区の活動状況について	20人
11/27	まいづる福祉会 ほのぼの屋	【管外研修】 ・ほのぼの屋の取り組みについての事業説明・施設見学	23人
3/24	ラポールひらかた 研修室1 他	【活動者交流会】 ・小地域ネットワーク活動の担い手を対象として、地域活動でのつながりづくりをテーマに交流会を南エリアと合同で開催	54人

イ) 中エリア会議

月日	場 所	内 容	出席数
7/12	ラポールひらかた 研修室1	・平成28年度中エリア会議について ・中エリア管外研修について ・自己紹介、各校区活動紹介	32人
11/30	京都福祉サービ ス協会本能 他	【管外研修】 ・社会福祉法人京都福祉サービス協会 高齢者施設「本能」を視察見学	27人
3/3	ラポールひらかた 大研修室	【活動者交流会】 ・小地域ネットワーク活動の担い手を対象として、地域活動でのつながりづくりをテーマに交流会を東エリアと合同で開催	46人

ウ) 南エリア会議

月 日	場 所	内 容	出席数
8/27	ラポールひらかた 研修室1	【会議】 ・平成28年度南エリア事業計画について ・管外研修について 【他市福祉委員会との交流会】 ・池田市石橋地区福祉委員会を招き、取り組み事例や活動内容について情報交換	31人
11/26	母子生活支援施設 「東さくら園」	【管外研修】 ・母子生活支援施設「東さくら園」の施設見学及び地域連携の取り組みについて視察	25人
3/24	ラポールひらかた 研修室1 他	【活動者交流会】 ・小地域ネットワーク活動の担い手を対象として、地域活動でのつながりづくりをテーマに交流会を北エリアと合同で開催	54人

エ) 東エリア会議

月日	場 所	内 容	出席数
8/29	枚方市立津田生涯学習市民センター	- 平成28年度東エリア会議事業計画について - 東エリア管外研修会について 【交流・懇談会】 - 京田辺社協登録ボランティアグループ「スペース・虹」を招き、懇談及び『認知症予防ゲーム（脳の活性化）』を実施	22人
2/10	社会福祉法人健光園 高齢者福祉総合施設 ももやま	【管外研修会】 社会福祉法人健光園 高齢者福祉総合施設「ももやま」の視察研修	24人
3/3	ラポールひらかた 大研修室	【活動者交流会】 小地域ネットワーク活動の担い手を対象として、地域活動でのつながりづくりをテーマに交流会を中エリアと合同で開催	46人

(2) 研修会開催状況

①校区福祉委員会活動者研修会

月日	場 所	内 容	出席数
12/5	メセナひらかた 大会議室	基調講演・パネルディスカッション テーマ 「地域福祉活動を通じた担い手づくり」 講師 桃山学院大学 副学長 社会学部社会福祉学科 教授 松端 克文 氏 「息の長い担い手を見つける工夫」 藤阪校区福祉委員会 「地域の楽しい居場所づくり」 磯島校区福祉委員会 「男性の地域活動への参加から担い手へ」 香陽校区福祉委員会	98人

②校区福祉委員会会長研修会

月日	場 所	内 容	出席数
12/20	ラポールひらかた 研修室1	〈内 容〉 グループワーク 〈テーマ〉 「地域福祉活動におけるリーダーシップについて」 講師 ライフデザイン研究所 FLAP 岩木 啓子 氏	42人

③校区福祉委員会会計担当者研修会

月日	場 所	内 容	出席数
5/17	ラポールひらかた 大研修室	〈内 容〉 - 校区福祉委員会の活動と財政について - 校区福祉委員会会計の処理について	71人

④いきいきサロン健康づくりサポーター養成講座

月日	場 所	内 容	出席数
8/22 8/31	ラポールひらかた 大研修室	〈内 容〉 - 健康維持するための食事 - 認知症予防のための楽しいレクリエーション - お口の健康づくりと熱中症予防 - 頭も体も元気に ロコモ体操+α 講師 枚方市立保健センター 管理栄養士、作業療法士、保健師、理学療法士	51人

⑤（校区ふくしのまちづくり計画推進会議）

月 日	場 所	内 容	出席数
10/18	枚方市市民会館 第1集会室 第2集会室	〈内 容〉 校区ふくしのまちづくり計画懇談会 ・校区まちづくり計画の役割と策定について ・グループワーク・討議 ・全体共有・まとめ	35人

⑥（小地域ネットワーク活動推進事業に関する研修）大阪府社会福祉協議会主催

月 日	場 所	内 容	出席数
2/19	大阪国際交流 センター	基調講演 「地域包括ケアシステムの推進とこれからの小地域福祉活動」 講 師 同志社大学 社会学部 社会福祉学科 准教授 永田 祐 氏 パネルディスカッション テーマ 「地域での介護予防・生活支援の実践から学ぶ」 ～地域包括ケアシステムの推進と 小地域福祉活動の役割・重要性～ 同志社大学 社会学部 社会福祉学科 准教授 永田 祐 氏	枚方より 35人 参 加

（3）小地域ネットワーク活動推進事業

①各校区の地域福祉活動の推進

市内全45校区福祉委員会が、各校区の地域特性に応じて住民主体で取り組む小地域ネットワーク活動の支援を行った。

1）個別援助活動

- ・地域で支援を必要とする人に対する見守り・声かけ訪問
- ・外出することが困難な人へ食事を提供するとともに、安否確認などを行う配食活動

2）グループ援助活動

- ・高齢者等を対象に、住民の憩いの場づくりとしてのいきいきサロン活動
- ・子育て中の親子が集まり、親同士の情報交流等を行う子育てサロン活動
- ・住民全般を対象とした世代間交流活動

3）校区福祉委員会等活動

- ・福祉講座やボランティアスクール等、地域住民に対する福祉啓発活動
- ・担い手の養成等を目的とした各種研修会の開催

（4）その他の活動

- ・社会福祉協議会住民会員募集の協力（7月）
- ・献血街頭キャンペーンの参加
夏期（8/5、8/8） 冬期（12/12、12/13）
- ・歳末たすけあい募金運動の協力（12月）

7. ボランティア活動推進事業

ボランティア活動は福祉をはじめ、保健・医療・環境・教育・文化・スポーツ・防災など幅広く、活動内容も多様化している。また、高齢化・核家族化が進む中、ひとり暮らしの高齢者が増え、さまざまな個別的な生活支援が求められるようになってきている。

昨年度に引き続き、社協地域福祉課 CSW と協同しボランティアセンターが、地域の人によりいっ

そう身近になるよう目指した。地域で活躍しているボランティアを対象とした講座を開催したり、地域の要請を受けて車いすや白杖講習を実施した。

(1) 枚方市ボランティアセンター事業

① ボランティアセンター開所状況

(単位：日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日数	20	19	22	20	22	20	20	20	19	19	20	22	243

② 相談・コーディネート活動

1) 来所者状況

来所形態	件数
来所	3,614
電話	1,499
計	5,113

性別	件数
男性	1,961
女性	3,152
計	5,113

内 容	件数
ボランティア活動相談	456
ボランティア派遣依頼	585
各種情報提供	3,137
ボランティア保険受付	562
交流	181
サロン・講座	192
ちょいボラ	0
計	5,113

2) 来所者内訳

来所者	件数
現任ボランティア・グループ	2,597
学 生	86
一般市民（主婦・シニア等）	877
地域（民生委員・福祉委員会・団体）	532
学校・教育関係	117
福祉施設・医療関係	320
行政・他市社協	584
計	5,113

対応結果	件数
調整（活動・依頼）	1,023
調整不可	13
取り下げ	5
相談・情報提供 講座・他	4,072
計	5,113

3) ボランティア登録状況（平成29年3月末現在）

・登録者数 981人（うち新規登録者 347人）

・連携しているボランティアグループ

ボランティアグループ連絡会加入41グループ、その他44グループの計85グループ

③ 枚方市ボランティアセンター運営委員会開催状況

月日	場 所	内 容	出席数
7/28	ラポールひらかた 研修室1	・新役員紹介 ・平成27年度ボランティアセンター事業報告 ・平成28年度ボランティアセンター事業計画 ・夏休み体験プログラム ・意見交換等	14人
3/7	ラポールひらかた 研修室1	・新委員紹介 ・平成28年度ボランティアセンター事業報告 ・平成29年度ボランティアセンター事業計画 ・意見交換等	14人

④ボランティアグループ連絡会の活動状況

市内41団体で構成し、各団体が情報交換・連携を図りながら活動を展開している。
また、「大阪府市町村ボランティア連絡会」に幹事を選出し、府レベルの活動にも参画している。

(1) 枚方市ボランティアグループ連絡会

- ・連絡会の開催（年間6回）
- ・役員会の開催（年間6回）
- ・枚方市敬老式典での高齢社会憲章朗読
- ・赤い羽根共同募金運動 街頭募金協力（10／3、10／4 計2回）
- ・社協ふくしフェスティバルの運営に協力（11／12）
- ・機関紙「ひろば」の発行（年1回／1000部）

(2) その他大阪府市町村ボランティア連絡会(計6回)・総会、代表者会議、河北ブロック交流会、研修会に参加

⑤ボランティア関係機関との連携

(1) ボランティア、市民活動中間支援組織との連携

- ・北河内ボランティアセンター、ひらかた市民活動支援センターとの連携・協同を図り、ボランティアコーディネートや事例検討などの情報交換を行った。
 - ・本センターと上記2センターによる3センター会議の開催 年間4回
 - ・3センターの呼びかけでボランティア啓発講座を開催 年間1回
 - ・3センターの呼びかけで「社協ふくしフェスティバル キッズボランティア」を募集し、6人参加
 - ・学校訪問等：各センターの資料、活動メニューなどを配布
 - ・NPO法人 ひらかた市民活動支援センター理事就任
 - ・北河内ボランティアセンターとコーディネーター研修開催
- ##### (2) 他市社会福祉協議会との交流会
- ・河北ブロックボランティアセンター担当者会議 計2回
- ##### (3) 行政機関への協力
- ・保健センター主催 健康サポーター養成講座に講師派遣

⑥情報提供、啓発活動の状況

(1) 機関紙、冊子の発行

- ・情報紙『ぼらんていあアドバイザーニュース』発行（年4回／各1,000部）
- ・ボランティアセンターのパンフレット配布

(2) 情報媒体への提供・協力

- ・社協だより・広報ひらかた・FMひらかた・ボランティアOSAKA
- ・市社協及び府社協等関係機関のホームページ等

(3) 各種機器、機材の貸与事業

- ・点字板 7件 ・白杖・アイマスク 6件 ・車椅子 8件

⑦ボランティアセンターホームページの運営

ホームページを活用して、ボランティアセンターの活動の様子や、センターが保有する各種情報の提供を行った。助成金情報をはじめ、福祉施設・ボランティアグループからのボランティア募集情報等を掲載。また、連携をとっているボランティアグループの情報を掲載した。

(2) ボランティア・市民活動者研修・育成活動

①ボランティア体験プログラム…市内各施設・ボランティアグループの協力を得て、ボランティア体験の機会を設定した。

【実施期間】 7月1日～9月30日

【協力施設】 40施設 (障害者施設：7／高齢者施設：9／保育所：10／VG：14)

【参加人数】

参加対象	高校生以下	大学生 専門学生	社会人	合 計
人数(人)	16	10	33	59
延日数	27	31	79	137

②ボランティア・市民活動講座

- ・手作りおもちゃ講習会(2回開催) ※総合福祉会館との共催
- ・夏休み工作広場 ・傾聴ボランティア養成講座 ・認知症予防ゲームリーダー養成講座
- ・健康講座 ・ボランティア講座 ・コミュニケーション麻雀

③小中学生及び地域住民への福祉体験講座を実施

市内小学校9校、中学校5校、地域・その他3カ所で、車いすやアイマスク・白杖体験、高齢者疑似体験を実施。

(3) ボランティア・アドバイザー育成・設置事業

ボランティア活動の経験を生かして、ボランティア活動に関する相談や情報提供を行う「ボランティア・アドバイザー」を設置。今年度は新規ボランティア・アドバイザーを公募し1人が加入した。

【ボランティア・アドバイザー】 10人

1日延べ4人、2交替の体制で配置。(従事時間：午前9時30分～午後5時)

※ミーティングを毎月第4火曜日、年間12回開催。

①ボランティア・サロンの開催

「ボランティアセンターはボランティア活動者の交流地点」をテーマに、アドバイザーが企画・運営。

(4) 災害時の支援体制づくり

災害ボランティアセンターの設置・運営訓練の実施や、災害時支援ボランティアの養成など、災害時に活かせる支援体制づくりを行ってきた。また、防災啓発イベントの開催を災害ボランティアリーダー・大学生を中心とした実行委員会を発足し、産官学民労の協力を得て体験型のイベントを開催した。

①災害ボランティアセンター設置・運営シミュレーションの実施

『災害ボランティアセンター設置・活動マニュアル』に基づき、災害ボランティアセンターの設置訓練を実施した。訓練参加者からの評価・意見を集約し、マニュアルの見直しに活かしていく。

月日	場 所	内 容	出席数
1/27	ラポールひらかた 大研修 研修室1	【テーマ】震度6の地震が発生。被災地となる枚方市社協職員と河北ブロック社協職員、大阪府社協職員の連携や、NPO等関係団体、ボランティアの役割を明確にする。 1) 災害ボランティアセンター開設訓練 2) 災害ボランティアセンター運営訓練 3) 振り返り・研修 図上訓練 要援護者避難所ガイドブックづくり	102人

②災害時支援者の養成

平成29年3月3日（金）ラポールひらかた 大研修室 参加者 40人

災害時支援ボランティアを対象に研修を行った。近年、地震や風水害による被害が全国各地で発生しており、被災地で活動されるボランティアの数も年々増えている。今回は、全国の被災地を回られたNPO法人み・らいずを講師に迎え、被災地でのボランティア活動の現状や日常からできる災害ボランティアについて学んだ。

③災害時要援護者支援ボランティアの募集

・募集期間 通年 ・登録者数 194人

・啓発方法 広報ひらかた、社協だよりに募集記事を掲載。募集チラシを配布。

④災害時要援護者避難支援事業の実施

枚方市の委託を受け、校区コミュニティ協議会や民生委員児童委員協議会の協力による、災害発生時に自力で指定避難場所まで避難することが困難な高齢者や障害者を対象とした登録受付、登録者リストの作成を行い、支援体制づくりをすすめた。

〈要援護者登録状況〉1,409人（男性 346人 女性 1,063人）

（平成29年3月末現在）65歳以上の高齢者1,283人、障害者126人

⑤ひらかた防災学校に参加

平成29年1月22日（日）午前10時～午後3時 サプリ村野

・車椅子体験コーナー ・参加者交流会

⑥よどがわ防災まつり（淀防）の開催

大規模災害発生時に、社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを立ち上げるが、市民への周知は十分ではない。また災害対策は日頃からの備えが必要となり、市民一人ひとりに関心をもってもらい、各種関係機関・団体と連携することで、より効果的な支援活動が出来ると考え、「遊んで・学ぼう」をテーマに、子どもから高齢者まで幅広い市民層が参加できるイベントを開催した。協力団体の日頃の防災に関する取り組みや災害時の支援等、ゲームをまじえながら紹介し、市民に周知を図った。

（日 時）平成28年12月10日（土）午前10時～午後3時

（場 所）淀川河川公園およびラポールひらかた

（共 催）日本災害救援ボランティアネットワーク

よどがわ防災まつり実行委員会

（協力団体）大阪府社会福祉協議会・枚方市危機管理室・枚方寝屋川消防組合

連合大阪 北河内地域協議会 他 合計21団体

（来場者数）600人

8. 献血推進事業

全国的に少子高齢社会が進行し、血液製剤の国内自給を目指して、献血人口の拡大と400ml献血の献血者を安定的に確保する必要性を関係機関等に強く訴え、平成28年度は400ml献血の推進を図るとともに、若年層の献血への参加に向けた取り組みや庁内献血に重点を置き活動を展開した。

また、枚方市駅献血ルームの啓発活動として、関係機関・団体等の協力により、市内全域にポスターを掲示し、献血推進に努めた。

(1) 事業内容

①献血推進協議会開催状況

月日	場 所	内 容	出席数
6/23	ラポールひらかた 集会室	・枚方市献血推進協議会設置要綱の変更について ・平成27年度枚方市献血推進協議会事業報告及び平成28年度事業計画について ・平成27年度枚方市駅献血ルームの献血実績及び平成28年度事業計画について ・枚方市駅献血ルームの定休日の変更について ・枚方市夏期献血街頭キャンペーンについて	14人
10/24	ラポールひらかた 研修室1	・枚方市夏期献血街頭キャンペーン結果について ・枚方市冬期献血街頭キャンペーン実施計画について ・枚方市上半期献血実績について ・冬期献血の現状と取組について	12人

②研修会開催

6月23日 テーマ：「血液事業の現状と推進」
 講 師：大阪府赤十字血液センター北大阪事業所
 事業課長 林 雅人 氏
 参加者：献血推進協議会委員 7人

③街頭キャンペーン実施状況

京阪枚方市駅前献血ルーム周辺及び京阪樟葉駅前周辺で、枚方市献血推進協議会委員ならびに献血推進員（校区福祉委員会会長）が、ティッシュペーパーを配布しながら献血協力を呼びかけるなどの啓発を行った。また、キャンペーン実施場所でハンドマイクにて献血協力を呼びかけた。

(単位：人)

	実 施 日	場 所	啓発参加者数	受付者数	採血者数
夏 期	8月3日	枚方市駅前（ルーム前）	24	65	59
	8月5日	枚方市駅前（ルーム前）	22	42	38
	8月8日	京阪樟葉駅前	22	41	32
小 計			68	148	129
冬 期	12月12日	京阪樟葉駅前	27	35	23
	12月13日	枚方市駅前（ルーム前）	20	44	40
	3月 1日	枚方市駅前（ルーム前）	20	60	53
小 計			67	139	116
合 計			135	287	245

【実施時間】

枚方市駅前（ルーム前）：午前10時～11時 午前11時30分～12時30分
 京阪樟葉駅前：午前10時30分～11時30分 午後1時～2時
 ※8月3日は、午前10時30分～11時30分まで（枚方市赤十字奉仕団婦人部会）
 ※3月1日は、午前10時30分～11時30分まで（枚方市赤十字奉仕団婦人部会）

④校区福祉委員会との連携

校区福祉委員会と連携し、23校区（2回）において献血を実施した。広報活動として、PR用チラシの配布（全戸配布用・回覧用）とポスターの掲示を行った。

枚方市駅献血ルームの冬期啓発ポスター掲示の協力を呼びかけ、献血推進の啓発に努めた。

⑤関係機関・団体等との連携

関係機関・団体等との連絡調整を図り、組織的・効果的な献血推進活動を展開した。

（２）枚方市献血実績

（単位：人）

実施区分 (域)	受付者数	採血者数	採血者内訳			主催団体 実施場所等
			200ml	400ml	成分	
街 頭	1,816	1,399	3	1,396	0	枚方市駅前 樟葉駅前
		77%	0.2%	99.8%	0.0%	
学 域	1,173	767	223	544	0	大学・専門学校等
		65.4%	29.1%	70.9%	0.0%	
職 域	1,971	1,635	110	1,525	0	事業所・病院 市役所 等
		83.0%	6.7%	93.3%	0.0%	
校 区	987	752	121	631	0	校区福祉委員会等
		76.2%	16.1%	83.9%	0.0%	
献血者計 (小計)	5,947	4,553	457	4,096	0	街頭～地域 の合計
		76.6%	10%	90%	0.0%	
献血ルーム	16,350	14,923	301	5,826	8,796	枚方市駅献血ルーム
		91.3%	2%	39%	59%	
総 合 計	22,297	19,476	758	9,922	8,796	採血車・献血ルーム の合計
		87.3%	3.9%	50.9%	45.2%	

（採血者数下の％は、受付者数に対する割合。採血者内訳下の％は、採血者数に対する構成比。）

９．コミュニティソーシャルワーカー配置事業

市内全域にコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、①地域福祉の計画的推進への支援②セーフティネット体制づくり③要援護者に対する見守り・相談④地域住民活動のコーディネート、企画・立案機能の強化に取り組んだ。

特に、地域における高齢者、障害者、ひとり親家庭など援護を必要とする人、またはその家族・親族等の支援や事業啓発を行うとともに、身近な所で気軽に相談できるよう、「出張相談会」の開催の拡充を図った。また、民生委員・児童委員の地区委員会や、校区福祉委員会が開催するサロン等に参加し、地域団体・専門機関と連携を図りながら、地域福祉の向上と要援護者の自立生活の支援のための基盤づくりを進めている。

CSWの啓発事業として、関係機関を対象に事例検討会を開催。また、枚方市、枚方市社会福祉協議会、枚方人権まちづくり協会が主催する「枚方市地域福祉セミナー」において、校区コミュニティ協議会、民生委員・児童委員、校区福祉委員会、人権擁護員を対象に、自治会、関係機関と連携して行った支援の事例報告を行い、CSWの啓発を行った。

（１）要援護者に対する相談・セーフティネット体制

要援護者の生活・心身の状況及び家族等の実態を把握し、地域団体・専門機関とともに、見守りやサービス等の調整、複合する課題を抱えた人や公的サービスだけでは対応できない人への支援体制づくりに向けて取り組んだ。

①年間相談件数（北・中・南・東部）

相談対象者	延べ件数	件数	相談者数
高齢者	772	485	
（うち）1人暮らし高齢者	（281）	（216）	
（うち）高齢者のみの世帯	（256）	（199）	
（うち）上記以外の高齢者	（235）	（70）	
障害者	891	201	
（うち）身体障害者	（31）	（17）	
（うち）知的障害者	（71）	（37）	
（うち）精神障害者	（789）	（147）	
子育て中の親子	110	57	
一人親家庭の親子	69	36	
青少年（39歳以下）	122	38	
DV被害者	29	7	
ホームレス	7	7	
外国人（中国帰国者を含む）	4	2	
中高年、40歳以上	184	64	
地域活動者・住民	1,227	500	
その他（上記以外）	82	46	
合 計	3,497	1,443	1,102

*内容別（重複該当含む）

相談内容	延べ件数	件数
福祉制度・サービスに関する相談	1,398	662
生活に関する身近な相談	1,461	669
健康・医療に関する相談	863	358
生活費に関する相談	724	250
就労に関する相談	241	88
財産管理・権利擁護に関する相談	178	83
消費者被害に関する相談	61	25
多重債務に関する相談	68	25
DV・虐待に関する相談	112	48
地域福祉・ボランティア活動に関する相談	942	476
住宅に関する相談	154	49
子育て・子どもの教育に関する相談	121	60
近隣トラブル	616	174
ひきこもり・社会的孤立	133	51
その他（上記以外）	107	53
合 計	7,179	3,071

②ケース検討会等を随時開催

③身近な所で相談できるよう出張相談会（市内15ヶ所）を開催

中部4ヶ所 / 北部2ヶ所 / 南部5ヶ所 / 東部4ヶ所

・校区福祉委員会等で開催するサロンに定例相談コーナーを設置。

・枚方宿くらわんか五六市にて、CSW事業の啓発コーナーを設置・・・毎月第2日曜日に実施。

(2) CSW事業の推進体制

関係機関・団体等の会議に参加、連携を図り、事業推進のための体制づくりを行った。

①CSW配置事業定例会（枚方市・枚方市社会福祉協議会・枚方人権まちづくり協会）の開催
12回

②CSW事例検討会の開催5回

③大阪府社会福祉協議会社会貢献事業（社会貢献支援員、老人福祉施設CSW）会議への参加

④枚方市高齢者虐待介入ネットワーク会議への参加

（枚方警察署、枚方保健所、枚方寝屋川消防組合、枚方市地域包括支援センター、枚方市いきいきネット相談支援センター、枚方市長寿社会推進室）

⑤枚方市障害福祉サービス事業者連絡会への参加

⑥地域ケア会議への参加

⑦枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議への参加と事例報告

⑧枚方市自立相談支援センター支援調整会議への参加

⑨ファミリーポートひらかた地域連絡会への参加

⑩ひこぼし福祉勉強会（福祉行政勉強会）でCSWの活動、取組について事例報告

⑪大阪府教育委員会スクールソーシャルワーカー連絡会への参加

⑫民生委員児童委員協議会の研修会で活動事例報告

⑬府・市関係各課及び地域の関係機関・団体等との連携

(3) 広報・啓発活動

①いきいきネット相談支援センター・総合福祉センター・地域包括支援センター共催による介護・福祉・健康講座を開催。

②社協だよりにPR記事掲載

③各校区福祉委員会発行の広報紙にCSWの啓発記事を掲載

④啓発資材の作成と配布

活動事例集 1,200部 / パンフレット 3,000枚

ポスター 100枚 / 啓発ティッシュ 5,000個

⑤CSW啓発事業事例検討会・地域福祉セミナー

月日	場 所	内 容	出席数
3/30	メセナひらかた	【事例検討会】 福祉行政（生活福祉室・自立相談支援センター、保健所）地域支援センターを対象にCSWが関わった事例をもとに事例検討会を実施。今後の支援においてよりよい連携のあり方について確認を行った。	18人
		【地域福祉セミナー】 校区コミュニティ協議会、民生委員・児童委員、校区福祉委員会を対象に、自治会、近隣住民、CSW、関係機関が連携して行った支援の事例報告を行った	62人

10. 福祉サービス利用援助事業

本事業が広く周知されてきた事もあり、年度当初から介護事業所や包括支援センターから利用希望者の相談が続き、待機者が出る結果となった。

(1) 事業概要

①目的

認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分でない人に対し、自立した地域生活を送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理などを行うことにより、権利擁護に資することを目的とする。

②実施事業

- 1) 福祉サービスの利用援助（情報提供、相談、代行・代理等）
- 2) 日常的金銭管理（日常管理通帳・印鑑の管理、公共料金等の支払い代行等）
- 3) 書類等の預かり（印鑑、各種証書等を貸金庫に保管）
- 4) 監査委員会の運営（年2回開催）
- 5) 関係機関との連携

③職員体制

専門員 2 人

生活支援員（サポーター）6 人（うち 4 人は週 5 日 7 時間 45 分、2 人は 4 日 5 時間）

(2) 実績

①サービス提供状況（契約件数 133 件 ※昨年度末 119 件）（単位：件）

	福祉サービス利用援助・金銭管理	福祉サービス利用援助・金銭管理・書類預かり【貸金庫利用者】	計	内訳	
				新規	解約
認知症高齢者	35	19	54	15	4
知的障害者	15	23	38	5	2
精神障害者	26	15	41	6	6
計	76	57	133	26	12

※解約理由：死亡 5 件/転居 2 件/成年後見 1 件/本人希望 3 件/施設入所 1 件

②専門員稼働状況

（単位：件）

専門員	問い合わせ	初回相談	訪問
	69	46	217

※訪問（初期訪問、ガイドライン調査、相談援助訪問等）

（単位：件）

生活支援員	訪問			手続代行等
	金銭授受	身上配慮	計	
	3,054	284	3,338	

③説明会・研修会への出張

月 日	内 容	対 象
7/28	事業説明会	民生委員児童委員協議会地区委員会（招提・殿二・平野）
11/25	事業説明会	民生委員児童委員協議会地区委員会（蹉陀・蹉陀東・蹉陀西）

1 1. 精神保健福祉推進事業

昭和46年に枚方市が制定した「精神衛生都市宣言」の趣旨を踏まえ設立された枚方市精神保健福祉推進協議会の運営を通じて、関係機関・団体と連携を図り、精神保健福祉に関する正しい知識の普及・啓発とともに市民の誰もがこころの健康を維持できるように思春期児童・生徒の「こころの健康づくり」を目的とした事業を実施した。また、こころに病のある人とその家族などによる当事者活動への支援及び精神保健福祉ボランティア活動の支援などを行った。

(1) 精神保健福祉推進協議会

①枚方市精神保健福祉推進協議会の開催状況

精神保健福祉の制度・施策に関する最新情報、枚方市における当事者活動の状況、心の健康に関する課題などについて関係機関・団体と共有することにより、効果的な事業推進を行うことができた。

月日	場 所	内 容	出席数
10/3	ラポールひらかた 研修室1	・委員の紹介 ・正・副会長の選任について ・平成28年度 上半期事業経過報告について ・平成28年度 下半期活動予定について ・各団体からの報告について	21人
3/6	ラポールひらかた 研修室1	・委員の紹介 ・平成28年度 事業経過報告について ・平成29年度事業計画予定について ・企画検討部会の活動報告について ・各団体からの報告について	21人

②企画検討部会の開催状況

心の健康づくりや心の病についての正しい知識の普及を図るための企画検討を実施した。本年は、若年層の心の病をテーマとし、教育委員会・学校と連携を図り、教職員を対象とした研修等により思春期児童の心の病などについての情報提供を行うなど、普及啓発を行った。

月日	場 所	内 容	出席数
6/14	ラポールひらかた 特別会議室2	・委員の紹介について ・正・副部会長の選任について ・平成27年度 事業報告について ・平成28年度 事業計画について ・取り組みの方向性について	9人
7/8	輝きプラザきらら セミナー室	・枚方市立小中学校養護部会役員会 「思春期児童・生徒の「こころの健康」「こころの病」をテーマとした研修」の打ち合わせ - 企画検討部会委員4人	参加者 養護教諭 8人
8/23	輝きプラザきらら 大研修室	・枚方市立小中学校養護部会研修会 「思春期児童・生徒の「こころの健康」「こころの病」をテーマとした研修」 - 講師：企画検討部会 小上馬 部会長 他委員8人	参加者 養護教諭 65人
3/15	ラポールひらかた 特別会議室2	・平成28年度 事業報告について ・平成29年度 事業計画について ・取り組みの方向性について	9人

③ふれあい交流事業の実施状況

1) しあわせHOTフェスティバル

地域で暮らす心の病を持つ人が、安心して過ごせる地域づくりの輪を広げていくことを目

的に、当事者を中心としたワーキンググループにより、交流イベントの企画・運営を行った。当事者・関係機関を中心に、多くの市民が参加し、心の病を持つ人が地域で暮らすことについて理解を広げることができた。

- ・テーマ：「障害なんてへっちゃらだ！希望の明日へ生きよう」
- ・主催：ふれあい交流事業ワーキンググループ
- ・後援：枚方市・枚方市教育委員会・大阪府立精神医療センター・関西記念病院
東香里病院・枚方市社会福祉協議会

＊ワーキンググループの開催状況 11回（主催団体のメンバー15人）

月日	場 所	内 容	参加者数
12/17	ラポールひらかた 大研修室	「しあわせHOTフェスティバル」 今年度は、こころの病の当事者や、関係機関の職員が、 テーマ別に分かれ、参加者同士が語り合い発表した。最 後に当事者によるギター・バイオリン・ピアノによる演 奏を行った。	40人

④ゼミナール・講演会等の開催状況

当事者や専門の講師を招き、精神保健福祉の重要性及び心の健康づくり、心の病等についての正しい理解を深め、差別や偏見のない住みよい社会を築くことを目的に研修会等を開催した。

1) こころの保健ゼミナール

月日	場 所	内 容	参加者数
9/26	ラポールひらかた 大研修室	テーマ「どうしてうまくいかないの」 ～できそうで、できないあなたに～ 講 師：大阪府立精神医療センター 副院長 医師 中西 正史 氏	60人

2) こころの健康講座

月日	場 所	内 容	参加者数
10/14	枚方市民会館 第4会議室	テーマ 「障害者差別解消法とその対応」 講 師：NPO 法人陽だまりの会理事長 河野 和永 氏	24人

3) こころの健康講座（当事者団体と共同開催）

月日	場 所	内 容	参加者数
2/26	メセナひらかた 研修室	テーマ：「アルコール依存症の基礎知識と自助グループ の効果」 講 師：関西記念病院 地域連携課長 三好 弘之 氏	45人

⑤セルフヘルプグループの活動支援

精神障害者クラブ「ひらりの会」、心に病を持つ者の家族の会「わかちあう会」、自死遺族わかちあいのつどい「ふきのとうの会」、「枚方断酒会」の活動の支援を行った。

⑥こころの電話相談の支援

実施日時：毎日（1月1日・2日を除く）午前10時 ～ 午後4時

相談員：研修を経た相談員 約70人 交代制

実施日数：363日

相談件数：3,606件（内訳： 男性1,463人・女性2,143人）

⑦こころの健康相談の実施

こころの問題全般について、適切なアドバイスを行うために専門家による相談を実施。

相談日時：毎週金曜日（祝日は休み）午後1時～4時（ラポールひらかた 1階相談室）

相談員：精神保健福祉士・臨床心理士 など

実施日数：48日 相談件数：76件

⑧広報・啓発等の状況

啓発資材の配布（社会福祉協議会等の主催事業時に適宜配布）

・枚方市精神保健福祉推進協議会の機関紙

「ほっとTime」の発行（2,000部）各関係機関へ配布

（2）枚方市自殺予防対策事業

枚方市自殺予防対策事業は、自殺予防に係る専用相談電話の設置や自殺予防の役割を担う人材の養成や市民への情報提供と啓発を推進することにより、自殺を思い悩む人への支援体制の充実を図った。

①電話相談支援事業（ひらかた いのちのホットライン）

自殺予防に係る専門の研修を終了した者が、専用の電話相談「ひらかた いのちのホットライン」において、不安や悩みを抱え自殺を思い悩む相談者の思いを傾聴し、受け止めることにより、その苦悩を軽減することを目的に電話相談を行った。

・実施日時 毎週月・水・金曜日 午後1時～午後8時

・相談従事者 枚方市が実施する相談従事者育成のための研修を修了した者

・実施日数 157日・相談件数 681件

②人材養成事業

電話相談支援事業に従事する相談員の養成及び、自殺を考えている人のサインに気づき、見守りを行い、専門相談機関による相談へとつなげる役割を担うゲートキーパーを養成するための研修を実施した。

1）フォローアップ研修

電話相談員のスキルアップを図り、相談事業の充実を目的に今回は主に傾聴の研修を行った。

・ケース・スタディ研修 46回 431人

・リーダー研修 11回 50人

・テープを聴く会 12回 93人

受講者総数 574人

平成28年4月から平成29年3月までリーダー研修・テープを聴く会は、毎月1回（8月・1月を除く）

2）ゲートキーパー養成研修

自殺についての正しい知識の普及を図るとともに、自殺のサインに気づき、支援内容に応じた適切な専門相談機関へつなぐ役割を担う人材を養成することを目的に「自殺防止ゲートキーパー養成研修」を実施。

1回目

・開催日時 平成29年2月24日（金）午後3時～午後4時30分

・講師 四天王寺学園小学校中学校 阪中 順子 氏

・受講対象者 枚方市小学校中学校養護教諭

・参加人数 26人

2回目

・開催日時 平成29年3月17日（金）午後1時30分～午後3時30分

・講師 枚方市保健所保健予防課 職員

- ・受講対象者 枚方市役所窓口職員
- ・参加人数 17人

3回目

- ・開催日時 平成29年3月23日（木）午後2時～午後3時35分
- ・講師 関西記念病院 副院長 熊瀬川 敏彦 氏
- ・受講対象者 一般市民
- ・参加人数 49人

③普及啓発事業

啓発キャンペーンの実施や自殺予防をテーマとした講演会の開催、各種相談窓口記載のリーフレットの配布など、広く市民への情報提供と啓発を行った。

1) 啓発イベントの実施

自殺予防対策週間や自殺対策強化月間において、街頭啓発キャンペーンを実施した。

- 1回目 日 時 平成28年9月12日（月） 午後4時30分～1時間程度
内 容 啓発用クリアファイル配布
場 所 京阪電車 枚方市駅・樟葉駅
- 2回目 日 時 平成29年3月17日（金）午後4時30分～1時間程度
内 容 啓発用クリアファイル配布
場 所 京阪電車 枚方市駅・樟葉駅

2) 講演会の開催

14年連続で自殺者数が3万人を超えていたが、平成24年以降減少傾向にある。しかし、近年は10代・20代の若年層の自殺者が増えていることが新たな課題となっている。今回は、ありえない出会いや人生に起こる奇跡をテーマとした、映画の上映を開催した。

映画「最強のふたり」上映

- 日 時 平成29年3月7日（火）午後2時～4時
場 所 ラポールひらかた 大研修室
参加人数 108人

3) リーフレットの配布等の情報提供

各種相談窓口を記載したリーフレットを関係機関・団体や市民に配布することにより、広く市民への情報提供と啓発を行った。

12. 生活福祉資金貸付事業

低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び自立・社会参加の促進を図ることを目的として、生活福祉資金貸付事業を実施した。

個人や世帯それぞれの状況と必要性に合わせた資金、例えば、就職に必要な知識・技術等の習得や高校、大学等への就学のための資金などの貸付を行った。

低所得者や失業者等の生活再建に向け生活費及び一時的な資金の貸付けを行う総合支援資金には、生活支援費・住宅入居費・一時生活再建費の3つの項目があり、全体数は過去と比較して件数・決定金額とも減少傾向にある。

(1) 生活福祉資金貸付

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	不承認
面接件数	40	46	84	65	58	56	88	73	55	55	85	73	778	6
貸付件数	8	5	11	11	5	8	11	12	7	8	15	23	124	

(単位：円)

区 分	貸付件数	貸付決定金額
福祉費	5 2	9, 028, 000
小口生活資金	2 4	1, 729, 000
生活復興支援資金	0	0
教育支援資金	4 7	35, 278, 000
不動産担保型生活支援(一般世帯)	1	8, 470, 000
〃 (要保護世帯)	0	0
合 計	1 2 4	54, 505, 000

(2) 総合支援資金貸付

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	不承認
面接件数	2	6	2	3	4	3	0	1	0	2	6	2	31	1
貸付件数	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	6	

(単位：円)

内 訳	貸付件数	貸付決定金額
生 活 支 援 費	6	1, 946, 000
住 宅 入 居 費	0	0
一 時 再 建 費	0	0
合 計	6	1, 946, 000

* 常用就職による貸付中止 (減額) 件数：0 件あり

(3) 臨時特例つなぎ資金 0 件

1 3. 住宅改造助成事業調査事務

重度身体障害者及び重度知的障害者(児)の人たちが、日常生活の自立や介護の負担軽減を図るため、心身の状況や家屋の構造などに合わせた住宅改造を行う場合、改造費用の一部を公的制度で助成。

本事業の推進のため、本会担当者と作業療法士や理学療法士等によるリフォームチームが介護支援専門員と連携し、利用者のニーズに応じた効果的な住宅改造の提案や相談・助言を行った。

(1) 重度障害者等住宅改造助成事業リフォームチーム開催状況

月日	場 所	内 容	出席数
4/25	ラポールひらかた 施設長室	・ 27年度住宅改造助成事業事業報告 ・ 平成28年度前期募集について受付状況の報告 ・ 住宅改造助成事業の課題について ・ 平成28年度 募集要項の確認	5 人
7/14	ラポールひらかた 施設長室	・ 平成28年度前期募集利用者の進行状況について ・ 今年度の住宅改造助成事業の課題について	4 人

10/28	ラポールひらかた 特別会議室 2	・平成28年度住宅改造助成事業 前期利用者報告 ・平成28年度後期募集利用者の進行状況について ・今年度の住宅改造助成事業課題について	4人
-------	---------------------	--	----

(2) 改造助成の相談状況及び改造箇所について

(単位：件)

区 分	相談世帯	助成対象世帯	他制度を紹介
65歳以上	49	13	28
65歳未満	22	13	10
不 明	24	0	12
計	95	26	50

・不明は匿名相談のため、年齢の区分なし。他制度を紹介は住宅改修費及び用具給付等、公的な融資制度などを指す。また、助成金対象世帯であっても着工済み・予算枠の空きがない等の理由も含む。(個別支援に関する訪問稼働数延べ 64回)

(単位：件)

区 分	便所	浴室	玄関・アプローチ	階段	廊下	台所	居室	洗面・脱衣所	その他	計
65歳以上	6	8	6	2	3	1	5	7	3	41
65歳未満	4	6	3	4	3	0	3	3	0	26
計	10	14	9	6	6	1	8	10	3	67

【改造内容】(合計：65歳以上ケース／65歳未満ケース 単位：箇所) ※改造箇所・内容については重複集計。

手すりの取り付け(16件：9/7)、段差解消(15件：8/7)、床材変更・床上げ(9件：5/4)、便器の洋式化・改善等(1件：0/1)、扉の変更・改善等(9件：7/2)、シャワーの設置・蛇口改善(7件：5/2)、浴槽改善等(6件：4/2)、段差解消機・昇降機設置(5件：2/3)

【アンケートの集計内容】

※利用者満足度 100% ※改造による効果 100% ※ニーズを実現したケース 26件

14. 乳児家庭全戸訪問事業

市内に在住する生後4カ月までの乳児のいる家庭を対象に、有資格者または子育て支援活動の経験がある訪問員が全戸訪問し、子育てについての不安や悩みを聴き、子育て支援に関する情報提供等を行う。同時に、親子の心身の状況や養育環境等の把握を行い、支援が必要な家庭に対して適切なサービス提供につなげるなど、乳児の健全な育成環境の確保を図ることを目的に、乳児家庭全戸訪問事業を実施した。

(1) 訪問件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
出生者数	258	231	263	236	232	245	230	255	233	269	228	244	2,924
訪問家庭数	198	186	215	175	184	199	155	191	184	207	176	200	2,270

*訪問家庭数は、新生児家庭訪問の実施世帯等を除いたものとなっています。

(2) 訪問員

- ・訪問員数 52人(平成29年3月31日現在)
- ・訪問員の要件 ①保育士等の有資格者 ②子育て支援活動の経験のある者

- ①または②の条件を満たした上で、確実にケースを担当できる者および年3回の研修に出席することができる者

(3) 訪問員研修会の開催状況

事業の目的を理解し、訪問員としての基礎的な知識の習得と資質の向上を図ることを目的に実施した。

月日	場 所	内 容	出席数
6/8	ラポールひらかた大研修室	1. 講演「子育てMAPの情報紹介」 講師：ファミリーサポートセンター 教文センター 2. グループワーク 「困ったケース」「今まで回答に困った質問」	39人
9/8	ラポールひらかた大研修室	1. 情報提供 保健センターより 「新生児訪問にて保健師、助産師が訪問する家庭」 「未熟児等について」 2. グループワーク 「訪問員をやろうと思ったきっかけ」 「実際の訪問におけるジレンマ」	42人
1/31	ラポールひらかた大研修室	・ワークショップ：訪問時の困った場面について考える 講師：龍谷大学短期大学部 こども教育学科 教授 中根 真 氏	34人

※訪問員交流会（綿毛の会）年8回開催

(4) 運営会議・ケース会議の開催

本事業に関わる関係各課（子育て支援室・子ども総合相談センター・保健センター）が参画し、事業に関する連絡調整及びケース対応検討を目的に毎月開催。

開催日：4/14, 5/18, 6/16, 7/12, 8/23, 9/16, 10/11, 11/14, 12/13, 1/12, 2/21, 3/15

(5) 相談員の設置

訪問時に作成する訪問個表の提出期間中等に、相談員として保育士資格者を1人配置し、訪問員に助言や指導を行う。年間40日間実施。

15. 16. 地域包括支援センター事業（第1圏域・第2圏域）

本会は、市内の地域包括支援センター13カ所の内、第1圏域（社協こもれび）と第2圏域（社協ふれあい）を担当し、要支援の利用者プラン作成、二次予防高齢者への地域支援事業のほか、介護支援専門員や介護保険事業所の後方支援や医療・介護施設のネットワーク、権利擁護・成年後見・高齢者虐待対応、地域社会資源の開発やネットワーク化に取り組んでいる。また、全市的に取り組んでいる「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」「高齢者見守り110番」においても徘徊高齢者や支援が必要な高齢者の早期発見につなげることができ、相談件数が大幅に増加している。

平成28年度は以上の事業に加えて、平成29年4月からスタートする介護予防・日常生活支援総合事業の準備に取り組んだ。本事業は国が進める介護保険制度の改正と地域包括ケアシステムの構築を進めるためのものであり、地域包括支援センターが最前線で取り組むべきものとなっている。具体的には、枚方市が進める元気づくり・地域づくりプロジェクトを進めるための協議体組織として「元気づくり・地域づくり会議」の設立に向けた準備を行った。他にも、医療・保健・福祉の実務面での連携を図るために、各専門職が顔をそろえる「多職種連携研究会」も実施した。

地域ケア会議の開催について社協こもれびでは、圏域内の樟葉・樟葉南・樟葉北校区において校区地域ケ

ア会議を開催。社協ふれあいでは、樟葉西校区「樟葉西地域ケア懇談会」、牧野校区「牧野地域ケア懇談会」をそれぞれ3回ずつ開催し連携を深めた。その結果、民生委員や府営住宅管理センター、介護保険事業所等からの相談や連絡が増え、埋もれた支援を要する高齢者の発見と支援に繋がった。

昨年に引き続き、医師と介護支援専門員の懇談会をクリニックの待合室で実施した。

また、地域包括支援センター聖徳園を含めた3圏域合同でつくる「くずは地域懇談会（地域ケア会議）」は今年10年目を迎え、「気になることはありませんか事業」を継続して実施し、要援護者の発見に寄与する。3月のイベントでは、「障害者と高齢者のくらしを支えるために」をテーマに「認知症サポーター養成講座」と「障害者差別解消法を学ぶ」講演会をおこない、くずは地域の活性化と地域の連携の強化を図った。

その他、「高齢者元気はつらつ事業」「出前教室・講座」として、地域に出向き、介護予防や権利擁護、成年後見・任意後見制度の講話、認知症サポーター養成講座を継続して実施した。

（１）介護予防プラン作成

①要支援者

第1圏域（社協こもれび）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
包括	156	158	150	130	127	125	122	121	99	85	85	82	1,440人
委託	179	188	200	224	225	222	230	235	254	265	262	259	2,743人
月計	335	346	350	354	352	347	352	356	353	350	347	341	4,183人

第2圏域（社協ふれあい）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
包括	170	167	171	168	167	171	177	176	180	181	178	181	2,087人
委託	179	188	186	186	186	178	177	175	176	179	180	184	2,174人
月計	349	355	357	354	353	349	354	351	356	360	358	365	4,261人

②二次予防事業対象者

第1圏域（社協こもれび） 介護予防プラン調査分 0件

第2圏域（社協ふれあい） 介護予防プラン調査分 0件

（２）総合相談

第1圏域（社協こもれび）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
電話	82	68	88	68	66	62	59	70	45	47	63	74	792件
来所	26	39	35	32	25	38	34	23	30	28	28	33	371件
訪問	12	13	15	6	14	11	12	13	7	13	11	12	139件
その他	2	2	4	1	0	1	0	2	4	0	2	1	19件
月計	122	122	142	107	105	112	105	108	86	88	104	120	1,321件

*新規・継続を含めた件数。

第2圏域（社協ふれあい）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
電話	119	159	136	128	140	118	126	129	139	164	152	177	1,687件
来所	27	39	37	20	36	36	27	36	25	27	23	34	367件
訪問	48	45	44	30	62	43	37	37	38	50	39	49	522件
その他	3	6	8	3	4	4	1	2	0	2	3	1	37件
月計	197	249	225	181	242	201	191	204	202	243	217	261	2,613件

*新規・継続を含めた件数。

（３）各種事業の実施

①介護予防普及啓発事業（高齢者元気はつらつ健康づくり事業）

第1圏域（社協こもれび）

月日	場 所	内 容	出席数
10/17	楠葉台自治会館	いきいきヨガ体操・毎日できる介護予防講座	9 人
10/25	咲が丘集会所		16 人
11/8	中之芝自治会館		24 人
11/22	北船橋町集会所		28 人
11/28	南楠葉集会所		5 人
11/29	野田北集会所	いきいきヨガ体操・毎日できる介護予防講座	21 人
12/12	楠葉丘集会所		29 人
12/19	中楠葉集会所		18 人
2/16	町楠葉福祉会館		11 人

第2圏域（社協ふれあい）

月日	場 所	内 容	参加人数
6/30	センチュリー6 番館集会所	腰痛予防教室	27 人
7/8	南船橋会館	認知症予防教室「トーンチャイム」	27 人
8/9	西船橋集会所	口腔機能向上教室「お口元気塾」	9 人
9/5	上島町新自治会館	認知症予防教室「笑いヨガ」	23 人
10/12	楠葉並木集会所	栄養改善と運動「バルーン体操」	22 人
11/22	枚方市市民交流センター	「男性向け料理教室」	6 人
1/26	楠葉生涯学習市民センター	「男性向け料理教室」	8 人
2/9	牧野北住宅第1集会所	口腔機能向上教室「お口元気塾」	7 人
2/28	センチュリー4 番館	認知症予防教室「ファイブ・コグ」	16 人
3/23	牧野生涯学習市民センター	「男性向け料理教室」	12 人
3/30	センチュリー4 番館	認知症予防教室「ファイブ・コグ」	19 人

ハートフルタイム（第1圏域 社協こもれび）

月日	場 所	内 容	出席数
6/30	楠葉生涯学習市民センター	懐かしい歌謡曲や唱歌 川北裕一郎氏（ギター）	71 人
12/21	楠葉生涯学習市民センター	ハーモニカに合わせて懐かしい歌や唱歌を歌った後、認知症予防ゲーム くらわんかカルテット（ハーモニカ）	81 人

②地域ケア会議・事業所懇談会等

くずは地域懇談会（第1圏域 社協こもれび・第2圏域 社協ふれあい共通）

月日	場 所	内 容	出席数
5/27	楠葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会 第1回役員会	7 人
7/12	楠葉生涯学習市民センター	第1回くずは地域懇談会	19 人
8/12	谷口内科2階ロッキールーム	くずは地域懇談会 臨時役員会	4 人
10/13	楠葉生涯学習市民センター	第2回くずは地域懇談会	21 人
1/23	谷口内科1階待合室	くずは地域懇談会 第3回役員会	7 人
3/12	楠葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会企画イベント テーマ「障害者と高齢者のくらしを支えるために ～認知症を知り、障害者差別解消法を学ぶ～」 午前の部：認知症サポーター養成講座 午後の部：「障害者差別解消法とは？」 講師：野川哲也氏（わらしべ）	24 人 24 人

第1圏域（社協こもれび）

月日	場 所	内 容	出席数
4/13	社協こもれび事務所	待合室懇談会（亀岡内科）	12 人
4/18	社協こもれび事務所	事業所懇談会（居宅介護事業所）	12 人
4/28	楠葉野会館	民生委員・児童委員と居宅介護事業所の懇談会（樟葉校区）	16 人
5/26	野田北自治会集会所	民生委員・児童委員と居宅介護事業所の懇談会（樟葉北校区）	18 人
6/7	朝日美咲自治会集会所	民生委員・児童委員と居宅介護事業所の懇談会（樟葉南校区）	14 人
6/20	メディケアモール	個別地域ケア会議	13 人
6/29	社協こもれび事務所	事業所懇談会（訪問介護事業所）	12 人
7/5	社協こもれび事務所	介護予防・日常生活支援総合事業説明会（ケアマネ）	13 人
7/14	谷口内科待合室	多職種連携事務局会議	9 人
7/14	社協こもれび事務所	元気づくり地域づくりプロジェクト説明と協議体への参加要請（圏域内事業所）	30 人
7/21	社協こもれび事務所	事業所懇談会（通所介護事業所）	8 人
7/22	石塚医院	待合室懇談会	14 人
7/27	朝日美咲自治会集会所	第1圏域元気づくり地域づくり準備会議	25 人
9/8	楠葉生涯学習市民センター	樟葉北校区地域ケア会議	40 人
9/23	くずは新生園	個別地域ケア会議	10 人
9/23	くずは北デイサービスセンター	事業所研修会（圏域内事業所）	20 人
10/20	楠葉生涯学習市民センター	多職種連携研究会	30 人
11/7	楠葉生涯学習市民センター	樟葉校区地域ケア会議	30 人
11/22	谷口内科待合室	多職種連携事務局会議	8 人
1/11	楠葉生涯学習市民センター	樟葉南校区地域ケア会議	43 人
1/20	楠葉生涯学習市民センター	第1圏域元気づくり地域づくり会議	20 人
2/20	つじなか内科	待合室懇談会	15 人

第2圏域（社協ふれあい）

月日	場 所	内 容	参加人数
6/17	社協ふれあい事務所	平成28年度第1回事業所懇談会（居宅）	12 人
6/21	社協ふれあい事務所	平成28年度第2回事業所懇談会（訪問介護）	13 人
6/22	楠葉生涯学習市民センター	平成28年度第1回樟葉西地域ケア懇談会	41 人
7/22	牧野アスティー	平成28年度第1回牧野地域ケア懇談会	34 人
9/14	社協ふれあい事務所	平成28年度第3回事業所懇談会（居宅）	12 人
10/4	社協ふれあい事務所	多職種連携研究会事務局会議	11 人
10/21	社協ふれあい事務所	平成28年度第4回事業所懇談会（訪問介護）	9 人
10/26	楠葉生涯学習市民センター	平成28年度第2回樟葉西地域ケア懇談会	39 人
10/26	楠葉生涯学習市民センター	平成28年度第1回樟葉西校区民生委員懇談会	7 人
10/31	枚方公済病院1階セミナールーム	第1・2・3圏域合同「医療連携研修会」	28 人
11/16	牧野アスティー	平成28年度第2回牧野地域ケア懇談会	31 人
11/16	牧野アスティー	多職種連携研究会事務局会議	11 人
11/16	牧野アスティー	平成28年度第1回牧野校区民生委員懇談会	6 人
1/20	社協ふれあい事務所	平成28年度第5回事業所懇談会	24 人
2/13	楠葉生涯学習市民センター	平成28年度第3回樟葉西地域ケア懇談会	36 人

2/13	楠葉生涯学習市民センター	平成 28 年度第 2 回樟葉西校区民生委員懇談会	8 人
3/4	牧野生涯学習市民センター	平成 28 年度第 1 回多職種連携研究会	19 人
3/22	センチュリー4 番館集会所	樟葉西地域ケア懇談会解散式・ 元気づくり地域づくり会議発足式	45 人
3/30	牧野アスティー	平成 28 年度第 3 回牧野地域ケア懇談会	32 人
3/30	牧野アスティー	平成 28 年度第 2 回牧野校区民生委員懇談会	7 人

③地域介護予防活動支援（出前教室、認知症サポーター講座など）

第 1 圏域（社協こもれび）

月日	場 所	内 容	出席数
4/8	朝日美咲自治会集会所	あさみカフェ「ライフサポートよろず相談会」	12 人
4/19	楠葉生涯学習市民センター	くずはサロン（出張相談）	20 人
4/23	北船橋町集会所	北船橋町喫茶つどい（出張相談）	50 人
4/27	中楠葉集会所	中楠葉ふれあいカフェ（出張相談）	33 人
5/13	朝日美咲自治会集会所	あさみカフェ「ライフサポートよろず相談会」	20 人
5/15	交野天神社	神社カフェ（ひらかた体操・あさいく先生）	100 人
5/17	楠葉生涯学習市民センター	くずはサロン（出張相談）	18 人
5/20	朝日美咲自治会集会所	樟葉南校区いきいきサロン出前講座	48 人
5/20	中楠葉集会所	老人会「和楽会」出前講座	45 人
5/24	面取咲が丘集会所	雑談の会（自主的な高齢者の集い）出張相談	19 人
5/28	北船橋町集会所	北船橋町喫茶つどい（出張相談）	50 人
6/10	朝日美咲自治会集会所	あさみカフェ「ライフサポートよろず相談会」	25 人
6/15	朝日美咲自治会集会所	樟葉南校区いきいきサロン出前講座	31 人
6/21	楠葉生涯学習市民センター	くずはサロン（出張相談）	10 人
6/25	北船橋町集会所	北船橋町喫茶つどい（出張相談）	32 人
7/8	朝日美咲自治会集会所	あさみカフェ「ライフサポートよろず相談会」	30 人
7/17	交野天神社	神社カフェ（ひらかた体操・あさいく先生）	30 人
7/19	楠葉生涯学習市民センター	くずはサロン（出張相談）	5 人
7/19	楠葉野会館	樟葉校区いきいきサロン出前講座	55 人
7/23	北船橋町集会所	北船橋町喫茶つどい（出張相談）	32 人
7/26	面取咲が丘集会所	咲が丘町高齢者の集い（出張相談）	15 人
8/8	朝日美咲自治会集会所	あさみカフェ「ライフサポートよろず相談会」	30 人
8/21	交野天神社	神社カフェ（ひらかた体操・あさいく先生）	30 人
8/24	中楠葉集会所	中楠葉ふれあいカフェ（出張相談）	30 人
8/27	北船橋町集会所	北船橋町喫茶つどい（出張相談）	32 人
9/3	楠葉中学校体育館	認知症サポーター養成講座（中学生対象）	542 人
9/9	朝日美咲自治会集会所	あさみカフェ「ライフサポートよろず相談会」	30 人
9/12	楠葉中町集会所	老人会「春秋会」出前講座	20 人
9/14	朝日美咲自治会集会所	あさみ歌のつどい（出前講座）	20 人
9/24	北船橋町集会所	北船橋町喫茶つどい（出張相談）	50 人
10/12	朝日美咲自治会集会所	あさみ歌のつどい（出前講座）	16 人
10/14	朝日美咲自治会集会所	あさみカフェ「ライフサポートよろず相談会」	20 人
10/16	野田北集会所	いきいきサロン認知症予防出前講座	36 人
10/16	交野天神社	神社カフェ（ひらかた体操・あさいく先生）	20 人
10/22	北船橋町集会所	北船橋町喫茶つどい（出張相談）	50 人
10/23	特養くずは美郷	認知症サポーター養成講座	14 人

10/26	中楠葉集会所	中楠葉ふれあいカフェ（出張相談）	30 人
11/11	朝日美咲自治会集会所	あさみカフェ「ライフサポートよろず相談会」	30 人
11/12	楠葉中町集会所	老人会「春秋会」出前講座	40 人
11/20	交野天神社	神社カフェ（ひらかた体操・あさいく先生）	20 人
11/26	北船橋町集会所	北船橋町喫茶つどい（出張相談）	50 人
12/9	朝日美咲自治会集会所	あさみカフェ「ライフサポートよろず相談会」	30 人
12/14	朝日美咲自治会集会所	あさみ歌のつどい（出前講座）	19 人
12/18	交野天神社	神社カフェ（ひらかた体操・あさいく先生）	20 人
12/24	北船橋町集会所	北船橋町喫茶つどい（出張相談）	50 人
1/13	朝日美咲自治会集会所	あさみカフェ「ライフサポートよろず相談会」	30 人
1/25	中楠葉集会所	中楠葉ふれあいカフェ（出張相談）	30 人
1/28	北船橋町集会所	北船橋町喫茶つどい（出張相談）	60 人
2/10	朝日美咲自治会集会所	あさみカフェ「ライフサポートよろず相談会」	25 人
2/13	楠葉中町集会所	老人会「春秋会」出前講座	21 人
2/19	交野天神社	神社カフェ（ひらかた体操・あさいく先生）	30 人
2/22	中楠葉集会所	中楠葉ふれあいカフェ（出張相談）	26 人
2/25	北船橋町集会所	北船橋町喫茶つどい（出張相談）	50 人
3/7	街かどデイハウススマイル	街かどデイハウス 手話講座	4 人
3/8	朝日美咲自治会集会所	あさみ歌のつどい（出前講座）	20 人
3/10	朝日美咲自治会集会所	あさみカフェ「ライフサポートよろず相談会」	30 人
3/17	中楠葉集会所	老人会「和楽会」出前講座	45 人
3/19	交野天神社	神社カフェ（ひらかた体操・あさいく先生）	25 人
3/21	楠葉野会館	いきいきオープンカフェ（出張相談）	25 人
3/22	丘二自治会館	老人会「丘二楠会」出前講座	15 人
3/22	中楠葉集会所	中楠葉ふれあいカフェ（出張相談）	21 人
3/23	街かどデイハウススマイル	街かどデイハウス 手話講座	3 人

※「男性介護者のつどい」（4/20・6/15・8/17・10/19・12/21・2/15）

第2圏域（社協ふれあい）

月日	場 所	内 容	参加人数
5/22	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談8件）	60 人
6/19	くずは西美郷	認知症サポーター養成講座	40 人
6/26	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談10件）	91 人
7/24	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談7件）	80 人
8/28	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談7件）	60 人
9/11	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談4件）	60 人
10/23	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談9件）	60 人
10/31	センチュリー集会所	認知症予防教室	23 人
11/9	並木集会所	陸会・健康講座	17 人
11/12	ラポールひらかた	第6回社協ふくしフェスティバル	多数
12/16	南船橋自治会館	寿会・ひらかた元気くらわんか体操継続支援講座	15 人
1/12	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談5件）	56 人
2/12	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談4件）	56 人

⑤実習生の受け入れ

第1圏域（社協こもれび） 6人 第2圏域（社協ふれあい） 5人

(4) 地域密着型サービスの運営推進会議出席

第1圏域（社協こもれび）

- グループホーム「はる」運営推進会議に出席（6回）
- グループホーム「くずは丘」運営推進会議に出席（6回）
- 小規模特別養護老人ホーム「くずは美郷」の運営推進会議に出席（6回）
- 地域密着型通所介護「デイサロンあさひ」の運営推進会議に出席（2回）
- 地域密着型通所介護「デイサービスごきげん家・あっぱれごきげん家」の運営推進会議に出席（2回）
- 地域密着型通所介護「デイサービス心」の運営推進会議に出席（2回）
- 地域密着型通所介護「ロンジェヴィテ125」の運営推進会議に出席（1回）
- 地域密着型通所介護「ミック健康の森くずは」の運営推進会議に出席（2回）
- 地域密着型通所介護「デイサービスさわやか」の運営推進会議に出席（2回）

第2圏域（社協ふれあい）

- グループホーム「のぞみ」の運営推進会議に出席（4回）
- 小規模多機能ホーム「まきの美郷」の運営推進会議に出席（6回）
- 小規模特別養護老人ホーム「くずは西美郷」の運営推進会議に出席（6回）
- 地域密着型通所介護「デイサービスセンター豊生まきの」の運営推進会議に出席（2回）
- 地域密着型通所介護「さざなみデイサービス」の運営推進会議に出席（2回）

(5) 地域包括支援センター関係者会議出席

市内13か所の地域包括支援センターの事業実施を円滑に推進するため、全体会議・保健師部会・社会福祉士部会・主任介護支援専門員部会が定例で開催され、担当者が出席した。また、枚方市地域包括支援センター運営等審議会に出席し、包括の活動報告を行った。また、近隣市との連携を図るため、枚方市・八幡市地域包括支援センター担当者合同連携会議に出席した。

17. 居宅介護等事業

障害者総合支援法に基づく居宅介護事業と介護保険法による訪問介護事業を行った。

障害者を中心にホームヘルプ事業を展開しており、介護保険法によるホームヘルプ事業の占める割合は、全体の約10.7%となり、昨年度より減少した。

本事業において利用者の意思及び人格を尊重し、必要なサービスを提供した。また、サービスの一層の充実を図るため、月1回のサービス提供責任者会議、ヘルパー業務の見直しや環境の整備等を検討する業務改善委員会、月2回のヘルパー会議、月1回の介護実技研修、3ヶ月に1回の料理実習等を行い、ヘルパーのモチベーションや質の向上に努めた。また、今年度については、サービス提供責任者を中心として本会のホームヘルプ事業のあり方について定期的に会議を実施した。

事業者が連携し障害者総合支援法を推進する「枚方市障害福祉サービス事業者連絡会」の会長としてまた、介護保険における「枚方市訪問介護事業者会」の役員として会の運営に参画し、会の企画・調整を行い、利用者主体のサービスのあり方を確認するなど、中心的な役割を担った。

また、本会の役割のひとつとして事業所の持つ介護技術や障害者への支援についてのノウハウを広く市民に提供するため、他事業所の研修会や本会の会館事業の介護講習会に講師として職員を派遣した。

(1) 利用者（契約）状況

ホームヘルプ事業の新規契約者は9人（身体2人・知的6人・精神1人・児童0人・介護保険0人）
契約解除者は6人（身体3人・知的0人・精神1人・介護保険2人・児童0人）。

解約の理由は、介護保険への移行者1人、入所施設に移行1人、他市に転居1人、死亡2人、高齢者施設移行者1人となっている。

新規契約者については、ひとり暮らしの人や通院を希望する人が多かった。利用者の入れ替わりは

あったが、3月現在の契約者は、全体で98人となっており、昨年度と同数であった。

ヘルパー不足は変わらず、今年度はわずか2人のヘルパーの雇用のみで、契約終了者は1人であった。食事作りや食事介助、入浴等、ヘルプ時間は早朝夜間に集中し、人材の確保は継続的な課題であった。障害者の内訳は、知的障害者が41人（通院のみが必要な7人を含む）で最も多く、身体28人、精神15人、児童5人、難病1人となっている。

昨年に引き続き今年度についても家族の疾病や高齢化のために、一人暮らしとなったケースへの介護が多くあった。地域生活が維持できるよう他機関との連携やヘルパーの質の向上を図った。

※新規契約者は月末に解約者は月初にカウント

月	障害者総合支援法					介護保険法	事業合計
	居宅介護					訪問介護	
	身体障害者	知的障害者	児童	精神障害者	難病		
4	29	37	5	15	1	10	97
5	28	38	5	15	1	9	96
6	28	39	5	15	1	9	97
7	28	39	5	15	1	9	97
8	29	40	5	15	1	8	98
9	29	40	5	15	1	8	98
10	29	40	5	15	1	8	98
11	28	40	5	16	1	8	98
12	28	40	5	16	1	8	98
1	27	40	5	15	1	8	96
2	28	40	5	15	1	8	97
3	28	41	5	15	1	8	98

(2) 利用時間

ホームヘルプ事業の利用時間については、月平均 2,363 時間で、昨年度と比して介護保険の利用時間が月 4 時間減となり、これは利用者 2 人の減によるものである。障害福祉サービスにおいて、通院介護（34 時間/月）や身体介護（17 時間/月）が増となったものの、家事援助（58 時間/月）と重度訪問介護（24 時間/月）は減少し、昨年度より平均月 35 時間減少した。身体介護が増加したのは、知的障害者の一人暮らし並行援助の増加が主で、昨年に引き続き通院のニーズも高く、その利用時間は増加し続けている。

時間減少の理由として、65 歳に達する利用者の介護保険への移行や入所施設の移行等、解約のために利用時間が減少したこともあるが、それらにも増して、入院が最も多かった。

(単位：時間)

月	ホームヘルプ事業利用時間								合 計
	障害者総合支援法居宅介護事業 (身体・知的・児童)			通院介護		介護保険訪問介護事業			
	家事援助	身体介護	重度訪問介護	身体介護		生活援助	身体	身体→生活	
				伴う	伴わない				
4	455.2	1182.7	359.0	75.9	36.5	54.8	106.4	92.0	2,362.5
5	446.3	1219.4	366.0	93.3	34.9	57.0	100.2	96.7	2,413.8
6	434.6	1202.3	365.2	95.6	30.1	56.0	99.6	93.3	2,376.7
7	453.7	1181.9	360.3	83.0	29.1	55.4	99.2	93.3	2,355.9

8	411.4	1211.6	375.9	65.1	32.9	54.9	105.8	90.3	2,347.9
9	366.9	1219.0	362.9	99.7	43.0	55.0	100.9	91.7	2,339.1
10	388.3	1258.3	363.4	92.1	44.3	54.9	101.7	97.6	2,400.6
11	406.5	1243.0	299.1	82.2	36.9	50.0	99.8	93.6	2,311.1
12	398.6	1263.7	373.0	95.5	30.5	54.0	111.9	101.7	2,428.9
1	401.8	1210.3	364.0	67.4	36.0	55.8	104.1	94.3	2,333.7
2	376.2	1138.2	335.0	56.4	25.6	54.0	98.1	86.1	2,169.6
3	423.1	1288.1	386.7	105.2	46.5	58.3	116.4	93.9	2,518.2
合計	4,962.6	14,618.5	4,310.5	1,011.4	426.3	660.1	1,244.1	1,124.5	28,358
月平均 利用時間	2,363時間（自立支援によるホームヘルプ約 2,111時間 介護保険によるホームヘルプ252時間）								

(3) ホームヘルパー現任研修会

月日	場 所	内 容	出席数
11/20	ラポールひらかた 集会室	「障害者差別解消法について」 講師：弁護士 青木 佳史 氏	34人
11/20	ラポールひらかた 特別会議室2	「第2回 安全講習会」 株式会社いつも 竹内 朗良 氏	34人
3/19	ラポールひらかた 特別会議室2	「家族の思い」 平井淳氏の母 平井 由美子 氏	35人

18. 移動支援事業

障害者総合支援法に基づく市町村事業である地域生活支援事業の移動支援事業(ガイドヘルプ事業)として余暇活動、事業所及びショートステイ施設・入所施設への送迎等、利用者の意思及び人格を尊重し、多種多様なサービスを行った。

今年度は、コーディネート効率化を図るためにガイドヘルパーへの依頼書の見直しを行い、よりわかりやすく作成しやすいものへと移行した。すでに導入しているメールシステムについても、携帯電話とパソコンによるメールを必要に応じて使い分け、適切な派遣をおこなった。

また、ガイドヘルパーの質の向上のため、現任研修会を2回開催し、多くの参加が得られた。障害の理解と支援のあり方への理解が深まったとともに共通のテーマに沿ってディスカッションを重ねることにより、他のガイドヘルパーの活動の状況や支援の様子を理解し、問題や課題を共有化することができた。

障害者総合支援法のもと、支援の根幹である自己選択と自己決定により、本人の意思を聞き取り、ニーズに沿ったサービスを心がけた。コーディネート業務を主軸とし、利用者からの相談、ガイドヘルパーへの指導、助言等をきめ細かく行った。月1回サービス提供責任者会議を実施し、コーディネートの効率化やケース検討・派遣調整、待機ケースの課題等について話し合った。

本事業は単なる余暇支援ではなく、利用者が地域で暮らすための生活支援の一端を担っているという観点から関係機関との連携を積極的に行い、必要に応じてサービス調整会議を開催した。

また、行政と事業者が連携し障害者総合支援法を推進する「枚方市障害福祉サービス事業者連絡会」の運営に参画し、会の企画・調整を行い、利用者主体のサービスのあり方を確認するなど、会の中心的な役割を担った。

ガイドヘルパーの人材の確保については社協だよりに掲載したり関係機関に募集のビラの設置をお願いした。また稼働していないヘルパーの活用と整理を行い、登録はしているが1年以上活動がない人について登録抹消を行った。その結果年度当初285人の登録者について19人抹消し新規登録者22人との相殺で288人となった。若年層及び男性ヘルパーについては、ヘルパーの確保に努めたが、実際の稼働人数は40人程度にとどまっている。今年度も若年層等、幅広い実稼働

できる人材の確保が課題であった。

(1) 利用（契約）者状況

移動支援事業では、新規契約者は1人(知的1人)。この1人については制度上利用できない医療系の施設に入所されたため一旦解約していた利用者で制度の変更により再契約となったもの。また、契約者は3月末現在、390人で、月平均、220人の契約者が利用しており、170人は、契約のみで利用には至っていない。解約者は3月末で79人、その内訳は死亡2人、高齢者施設への入居1人、利用更新のない人76人となっている。本会への契約希望者は多く、移動支援の利用のニーズの高さが伺えるが、現状の利用者へのサービスの質及び量の確保のため、緊急の場合を除いて新たな契約者を制限している。今年度については3月末で12人が契約待機者となっており、これらの人を受け入れる努力をおこなった。その他、精神障害のある人で知的障害との重複者については知的障害者に含めている。

(単位：人)

月	移 動 支 援 事 業				合 計
	身体障害者	知的障害者	児 童	精神障害者	
4	18	359	14	1	392
5	16	359	14	1	390
6	16	358	14	1	389
7	16	359	14	1	390
8	16	359	14	1	390
9	16	359	14	1	390
10	16	359	14	1	390
11	16	360	13	1	390
12	16	360	13	1	390
1	16	360	13	1	390
2	16	360	13	1	390
3	16	360	13	1	390

(新規契約者は月末に解約者は月初にカウント)

(2) 利用時間

市町村事業である移動支援事業は、他市のように1月の区切りで時間が制限されるのではなく3ヶ月で150時間というように利用時間を調整できるニーズに即した利用しやすい制度となっている。今年度については5,000時間を超える月が5回あり、総利用時間は、約59,500時間で月平均4,961.25時間となった。昨年度と比較して月平均約45時間の増となり昨年度からさらに少し増加した。原因としては利用者の家族の高齢化のため週末もガイドヘルプサービスを利用して過ごされる方が増えたことや気象条件によるものと考えられる。利用者本人の加齢に伴う利用時間数の減少や新規利用者の受け入れを制限せざるを得ない状況等もあり大幅に増加することはないが、本事業については、依然としてニーズが多様化し、なくてはならない支援となっている。

(単位：時間)

移 動 支 援 事 業						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
4,882.5	5,247.75	4,779.75	5,198	4,770	4,862.25	5,292
11月	12月	1月	2月	3月	合 計	月平均利用時間
5,137	4,982.75	4,678.5	4,636.25	5,068.25	59,535	4,961.25

(3) ガイドヘルパー現任研修会

月日	場 所	内 容	出席数
9 / 2 8	ラポールひらかた 大研修室	テーマ：「障害の理解と支援について」 かざみどり相談室 宮崎 充弘氏	9 3 人
3 / 1 3 3 / 1 4	ラポールひらかた 大研修室	テーマ：「平成28年度在宅福祉課事業報告 およびガイドヘルパーの意見交流会」	6 5 人 6 5 人
3 / 2 9	ラポールひらかた 特別会議室2	補講：「知的障害のある人の支援について」 ・あいむはっぴーと叫びたい ・わたしの主張のビデオ視聴	9 人

19. 父子家庭日常生活支援員派遣事業

父親が就労等により不在のため、円滑に日常生活を営むことに支障がある父子家庭に対し、父子家庭生活支援員を派遣して、父子家庭の生活向上を目指す事業である。今年度については、昨年度2月より受けているケースについて8月まで継続して支援を行った。対象となる子どもが就学前の幼児3人(1歳児含む)であったため、支援員2人派遣とした。父親の仕事が午後10時までであり支援が深夜に及ぶことが度々あった。父親の転職に伴って8月末にて支援を終了した。

本事業について、市と協議の結果、平成28年度をもって受託終了となった。

件 数	派遣延べ回数		内 容
1 件	午前8時～午後6時	0 回	児童の保育、住居の掃除、身の回りの世話、食事の世話など
	午後6時～午後12時	6 6 回	
計		6 6 回	

20. くすの木園（生活介護）管理運営事業

今年度は、入退所が各1人あり、33人の利用となった。

利用者個々の意思・個性を尊重し、利用者の立場に立った支援を心がけ、家族・地域・関係機関等と連携を図り、計画的・適切な支援に努めた。

「スパバレイ枚方南」での野菜販売に際しては、近隣住宅にチラシを全戸配布するなど、地域住民との交流に努めた。特に、宮山町会とは、避難訓練への参加のほか、夏祭りでの野菜の販売、くすの木まつりで子供会に出店してもらうなど定着している。

リサイクル活動の一環である紙すきはがきについては、サークル活動や講座用の注文も増え、和歌山からの注文も2件あった。牛乳パックのビニールはがしやちぎりの材料づくりから、紙すき、計量と袋詰めなどの製品化まで、利用者それぞれが取り組みやすい工程からはじめ、その幅を広げると共に、分業することで仲間と協力することなどを経験した。また、市の福祉寄附で高速ミキサーを配置してもらい、材料づくりも進んだ。

(1) 利用者状況（平成29年3月31日現在・在所者33人）

①年齢別の状況

(単位：人)

年齢	20歳未満	20歳以上～ 25歳未満	25歳以上～ 30歳未満	30歳以上	計	平均年齢
男	0	2	8	1 3	2 3	3 0. 1 歳
女	0	1	4	5	1 0	3 2. 3 歳
計	0	3	1 2	1 8	3 3	3 0. 8 歳

②在所要数の状況

(単位：人)

	1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15年以上	計
男	1	2	3	14	3	23
女	0	1	4	4	1	10
計	1	3	7	18	4	33

(2) 障害の状況

①療育手帳判定

(単位：人)

性別 \ 判定	A	B 1	B 2	計
男	23	0	0	23
女	9	1	0	10
計	32	1	0	33

②障害支援区分

(単位：人)

性別 \ 区分	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	2	1	12	8	23
女	0	0	1	2	4	3	10
計	0	0	3	3	16	11	33

(3) 月別在所要数・月別出席率

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
在所要数(人)	33	33	33	34	34	34	33	33	33	33	33	33
開所日数(日)	21	21	24	21	21	20	21	22	20	20	22	22
在所要数×開所日数(日)	693	693	792	714	714	680	693	726	660	660	726	726
延利用数(人)	644	616	725	633	640	627	627	651	619	586	658	655
出席率(%)	92.9	88.9	91.5	88.7	89.6	92.2	90.5	89.7	93.8	88.8	90.6	90.2

(年間開所日数 255日 年間平均出席率 90.6%)

(4) 年間行事の実施状況

月	日	行 事	保護者会	土曜開所
4	1	新年度事業説明会	1日	16日
5				7日・14日
6	5	ふれあいフェスティバル(自由参加)	15日	11・18日
7	2 4	スポーツ交流会(自由参加) スポーツ交流会代休(職員研修)		16日
8	12 19	I期終業日 夏休み 8/15～18 II期始業日 宿泊体験 8/26～8/27	24日	6日・13日
9				10日
10	21 22	くすの木まつり準備(代休) 第36回くすの木まつり	19日	1日
11	13 10～21	宮山町避難訓練(自由参加) 第1回 外出活動 10,11,14,15,17,18,21(全7回)	16日	26日

1 2	1 6 1 8 2 7	クリスマスパーティー ジョイフルクリスマス（自由参加） Ⅱ期終業日 冬休み 1 2 / 2 8 ~ 1 / 4		1 0 日・2 4 日
1	5	Ⅲ期始業日	2 5 日	7 日・2 1 日
2	13~17	第 2 回 外出活動 13,14,16,17（全 4 回）	1 5 日	4 日・2 5 日
3	2~3 2 4 2 9	宿泊研修会（3/2~3/3） 年度末パーティー Ⅲ期終業日 春休み 3 / 3 0、3 1		1 1 日・2 5 日

（５）くすの木園運営懇談会の開催状況

月 日	場 所	内 容	出席数
3/8	枚方市立 くすの木園	・平成 2 8 年度の取り組みと今後の課題について ・利用者の活動見学(基本クラスの取り組み) ・利用者の意見発表と意見交換	1 4 人

（６）作業収入集計表

（単位：円）

種 類	牛乳 パック	アルミ缶	箱 折 り	も ぎ り	銅線 剥離	野菜 販売	紙すき はがき	ふれあい コーナー	イベント 他	計
金 額	8, 964	100, 144	39, 547	16, 120	5, 500	127, 025	26, 140	20, 131	157, 249	500, 820

* 作業収入から消費税及び地方消費税相当額を差し引いたものを本人支給費として、年間 1 2 回に分けて利用者に支給した。

（７）ボランティアの協力状況

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延人数	25	21	25	49	4	27	111	20	23	20	20	30	375

2 1. 地域活動支援センター（ゆい）事業

「地域支援センターゆい」は障害のある人の地域生活を支援することを目的に、地域活動支援センターⅠ型事業や障害者相談支援事業、日中一時支援事業等を実施した。

地域活動支援センター事業では日中活動（創作活動・生産活動・サロン等）を行った。創作活動は地域のボランティアに講師を依頼し、手芸・料理・書道や手話等の講座も実施した。また餅つき大会やクリスマス会等のレクリエーションに地域の人たちも参加し、地域との積極的な連携を図ることができた。サロンは常時開催し、利用者やボランティア等市民の憩いの場としてセンターが有効活用され、サロンの活動を通しての相談も増えた。

今年度 2 回目の「わいわいウォークラリー」は、宣伝用ビデオを作製しラポールひらかたで放映する等広報を行い、広く市民に参加を呼びかけた。昨年に比べて参加者も増え、障害のある人もない人もともに楽しめた 1 日となり好評であった。

障害者相談支援事業では、訪問や来所、電話などの方法により幅広い内容の相談を受けた。主な支援対象者は知的障害のある人であった。生活技術に関する支援が昨年より 400 件以上増えており、一人暮らしの人の生活支援が多かった。基幹型相談支援センターとして虐待や罪を犯した人等の支援困難なケースについても枚方市障害福祉室や他機関等と連携して支援を行った。

障害のある人を対象とした学習会では、平成 28 年 4 月より施行された「障害者差別解消法」をテーマに今年度は 4 回学習会を開催した。昨年度を含め、今までの学習会の総まとめとして 3 月に「障害者差別解消法シンポジウム」を障害当事者の 4 人のシンポジストと大阪府立大学三田准教授をコメンテーターとして招いて開催した。障害者に対する差別や偏見をなくすため、市民の参加も積極的に呼びかけた。

「枚方市自立支援協議会」に幹事として参画し、枚方市や様々な機関と連携を図り、障害者施策についての検討や提案を行った。「枚方市知的障害者福祉ネットワーク」では、事務局として会の中心的な役割を担った。12 月には障害者週間にあわせ、枚方市と自立支援協議会主催の「ほっこりひらかた」を開催。「わたしの主張」や講演会などを実施して障害のある人について広く市民に啓発活動を行った。

日中一時支援事業は定期利用者以外に長期休暇に利用するなどの不定期利用者や引きこもり等の支援が必要な人のニーズにも応えサービスを提供した。活動内容については散歩やバドミントン・園芸など屋外活動、ドリル等用いた学習や紙芝居・トランプ・料理・ビーズなどの屋内活動等幅広い活動を実施し充実を図った。

(1) 地域活動支援センター事業 I 型

基 礎 的 事 業			I 型 事 業			
創作活動	生産活動	その他	医療・福祉及び 地域との連携 のための調整	地域住民・ ボランティア 育成	障害に対する理 解促進を図るた めの普及活動	
合計	9 1 2 人	1 9 6 人	5, 6 1 6 人	1 1 1 回	1, 0 1 9 人	1 5 回

(2) ジョイジョイサークル活動・当事者の集い

事 業 名	開催月	参加者数	ボランティア 数	内 容
ジョイジョイサークル (月 1 回開催。市内在住・ 就労の知的障害のある人を 対象にレクリエーションを 中心としたサークル活動)	4 月	1 8 人	5 人	お花見 (京都府立植物園)
	5 月	1 7 人	4 人	バーベキュー (四條畷市立野外活動センター)
	6 月	2 1 人	0 人	ミーティング
	7 月	9 人	2 人	スポーツ交流会
	8 月	1 8 人	0 人	ミーティング
	9 月	1 8 人	4 人	一泊旅行 (和歌山方面)
	1 0 月	2 0 人	0 人	ミーティング
	1 1 月	2 3 人	5 人	外出活動 (海遊館・京都鉄道博物館)
	1 2 月	1 6 人	3 人	ジョイフルクリスマス会
	1 月	1 6 人	3 人	新年会 (ラポールひらかた)
	2 月	2 1 人	1 人	エキスポシティ
	3 月	1 4 人	0 人	ミーティング
ほっこりひらかた	年 1 回 (12 月 4 日)	7 3 人	4 7 人	本人討論会「わたしの主張」
合 計 (延べ人数)		2 8 4 人	7 4 人	

(3) 地域支援センターゆい学習会テーマ「障害者差別解消法について」

開催日	参加者人数	支援者等	合計
7 月 3 日 「報告と提案」振り返り	2 5 人	6 人	3 1 人
9 月 4 日 (第 6 回)	3 3 人	1 3 人	4 6 人

11月6日（第7回）	33人	7人	40人
3月5日（第8回） シンポジウム	50人	36人	86人

（４）日中一時支援事業

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	14	12	11	12	15	9	10	12	11	16	14	20	156

（５）障害者相談支援事業

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒不安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援
合計	836人	32人	387人	148人	17人	959人
	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他
合計	97人	645人	80人	232人	72人	14人
					相談総 のべ人数	3,519人

22. 障害者活動支援事業

障害のある人が社会参加や交流する機会として、各種レクリエーション行事を実施し障害のある人の自立と社会参加を図った。

「ふれあいスポーツ交流会」では知的障害等のある人で構成される実行委員会を設立。実行委員長と副委員長を中心に会議の司会進行を行うことができた。実行委員会で協力し合いながら大会の企画運営を行い、実行委員同士や事業所間の交流を深めることができた。アトラクションとして大学のチアリーダー部を呼び、華やかな演技で盛り上がった。

「ジョイフルクリスマス会」では、参加者によるオープニング、閉会宣言などを行った。地域で活動する演歌歌手やパントマイムの人をよび生歌や演技を満喫した。参加者の楽しめるバリエーション豊かなプログラム構成で充実を図った。

事業名	開催月	参加者数	ボランティア数	内 容
ふれあいスポーツ交流会	7/2	365人	85人	レクリエーション行事 枚方市立総合体育館
	実行委員会 計6回	のべ68人 (実行委員12人)	—	実行委員会参加団体 12団体
ジョイフルクリスマス会	12/18	105人	9人	レクリエーション行事 メセナひらかた

23. 共同生活援助事業

「れいんぼう」「ひまわり」「コスモス」「たんぽぽ」の4カ所の運営を行った。グループホームで快適な生活を送ることができるように一人ひとりの思いを尊重したホームの運営を目指した。

今年度消防法の取り扱いの見直しがあり、スプリンクラーの設置を義務づけられたグループホームが2か所から1か所に変更となった。利用者の高齢化も考慮し、住みやすい物件を探したが、来年度も引き続きスプリンクラー設置の対策を検討していく。

利用者の高齢化等により休日、日中時間帯の介護が必要になったグループホームに生活支援員を配置して対応した。また現在、利用者1人が入院中で病院と連携しながら対応している。

世話人研修や会議については、世話人の業務別（夜勤・調理）でそれぞれ設定し、より密な情報共有を行った。

より良いサービスの提供を目指して独自で利用者アンケートを実施し、利用者の意見を聞きとり問題点を把握して改善を図った。また、世話人にも、自己点検アンケートを実施して一人ひとりの日常の仕事についての見直しを行い、支援の向上に努めた。

また、世話人養成研修の実習の受け入れや、外部法人による見学の依頼なども積極的に受け入れを行い、グループホームの推進を積極的に行った。

「枚方市知的障害者福祉ネットワーク 生活部会」を中心的に担い、枚方市内のグループホーム運営事業所と情報交換等により連携を深めると共に、グループホームの推進について意見交換を行った。また市内世話人を対象に「救急法と応急手当について」・「事例検討」をテーマにグループホーム世話人研修会を年2回実施し、多くの参加があり世話人の資質の向上を図ることができた。

（１）地域支援センターゆい世話人研修

項 目	回 数	人 数	内 容	場 所
世話人初任者研修	13回	のべ 13人	世話人の支援のあり方（現地実習）	各グループホーム
世話人内部研修	69回	のべ 294人	利用者の支援について個別支援計画等	各グループホーム
世話人外部研修	2回	のべ 36人	枚方市グループホーム世話人研修会	ラポールひらかた

（２）枚方市知的障害者福祉ネットワーク 生活部会 世話人研修

月 日	研 修 内 容 (場 所)	参加人数
10/19	枚方市知的障害者福祉ネットワーク 生活部会 グループホーム世話人研修会 テーマ「救急法と応急手当について」 講師： 大阪ライフサポート協会	72人
3/16	枚方市知的障害者福祉ネットワーク 生活部会 グループホーム世話人研修会 テーマ「事例検討会」	70人
合 計		142人

24. 介護予防ポイント事業

地域で暮らす高齢者自らの社会参加を支援することにより、本人の介護予防や健康維持を図り、住み慣れた地域で心豊かに暮らせる地域社会の実現を図るとともに、地域の介護力を高めることを目的として、平成26年度から実施した。

今年度は3年目になり、引き続き新任サポーターの研修・登録を行い、サポーターのコーディネートを行った。受入施設の拡大としては、未登録の施設を対象に事業説明会（5月）と、介護老人保健施設に関しては再度挨拶回り（1～2月）を行った。

（１）登録施設

特別養護老人ホーム（21か所）・デイサービス（44か所）・グループホーム（11か所）

介護老人保健施設（3か所） 合計79か所

（２）サポーター

登録者数 210人（男性26人・女性184人）

活動者数 160人（男性22人・女性138人）

（３）研 修

①サポーター新任研修

新たにサポーターとして活動するための基礎知識や心構えなどについての内容を、新任研修として3回にわたり広報ひらかたにて募集を行い実施した。

月 日	場 所	内 容	出席数
4/25	ラポールひらかた 大研修室	【テーマ】 「サポーター活動とは」 【講 師】 京都光華女子大学 健康科学部 医療福祉学科 社会福祉専攻 准教授 石井 祐理子 氏	49人
7/25			16人
10/24			31人

②サポーター現任研修

サポーターの技能向上を図り、より一層の円滑な業務遂行に資することを目的に、現任研修として3回にわたり実施した。

月 日	場 所	内 容	出席数
5/17	ラポールひらかた 大研修室	【テーマ】「認知症等高齢者に対する権利擁護 について」～早めの備えで自分らしく生きる～ 【講 師】リーガルサポートおおさか所属 司法書士 島田 悠香里 氏	78人
9/1	ラポールひらかた 大研修室	【テーマ】「接遇について」 【講 師】有限会社レイズ 増田 知乃 氏	82人
2/7		【テーマ】①「AEDの操作方法」 【講 師】枚方寝屋川消防組合 地域防災向上センター 副センター長 古川 逸郎 氏 他2人 【テーマ】②「施設での活動について」 グループ・ワーク	67人

③介護事業所受入施設事業説明会

新規受入施設の拡大を行うことを目的に、今年度は介護老人保健施設に拡大、その他未登録のグループホーム、デイサービス事業所へ説明会を行った。

月 日	場 所	内 容	出席数
5/31	ラポールひらかた 大研修室	事業説明・質疑応答	26施設

（４）ポイントの換金

ポイントはサポーターの活動1回（1日1時間以上）につき1ポイントを付与し、1ポイント200円、50ポイントを上限として、現金又は図書券・商品券と交換する。2月末日をもって締め日とし、3月中に交換を終了した。

25. 成年後見等事業

日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）利用者のうち、契約時と比べて病状が進行し、判断能力がさらに低下した利用者を対象として、本会が成年後見人等となることにより、対象者の財産管理・身上監護を行う。

また、市民や関係機関を対象に、判断能力が低下してきた方の権利擁護について、各種相談を行った。（平成29年3月31日現在：受任件数 4件）

(1) 実施体制

法人後見担当者 1人 / 法人後見支援員 1人

(2) 相談件数と主な相談内容

- ・一般相談 10回 (権利擁護全般、成年後見制度概要について)
- ・申立支援 2回 (相談・訪問・フェイスシート作成等)

(3) 申立件数と受任件数

年 度	申立	(審理取り下げ)	受任	死亡
26年度	3	※1	1	0
27年度	3	0	4	1
28年度	1	0	1	1
計	7	※1	6	2

※審理中本人死亡のため

平成28年度申立内容

内 訳	後見申立	保佐申立	補助申立
認知症高齢者等	0	1	0
知的障害者等	0	0	0
精神障害者等	0	0	0

(4) 支援回数：481回 (自宅・施設訪問、金銭の支払い業務、契約・解約手続、死後事務等)

(5) 研修・講演会：法人後見事業研修会の開催 (組織会員研修会と合同開催)

月 日	場 所	内 容	出席数
2/13	ラポールひらかた 大研修室	「認知症の人を地域で支える 権利擁護の仕組みを知る」 ～福祉サービス利用援助事業と成年後見制度～ 講師：種智院大学教授 明石 隆行 氏	112人

(6) 法人後見事業審査委員会

受任候補者がなかったため、委員会は未開催。

26. 総合福祉会館管理運営事業

(1) 総合福祉会館の管理・運営

障害者や高齢者などの生活支援に必要な情報やサービスの提供、部屋の貸し出しを行い、市民活動やボランティア活動の支援を行った。

①開館日数

(単位：日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日 数	29	30	29	30	30	29	30	29	27	27	27	30	347

②部屋別利用状況

1) 有料室

(単位：件)

室 名	午 前	午 後	夜 間	合 計	利用率(%)
研修室1	170	269	131	570	54.8
研修室2	224	249	143	616	59.2

研修室3	2 2 0	2 6 9	1 4 7	6 3 6	6 1. 1
研修室4	2 0 7	2 3 4	1 4 1	5 8 2	5 5. 9
集会室	2 2 7	2 6 9	1 3 0	6 2 6	6 0. 1
和室	1 5 1	2 1 2	7 2	4 3 5	4 1. 8
大研修室	2 4 2	2 9 6	9 9	6 3 7	6 1. 2
保育室	1 3 6	1 2 4	2 5	2 8 5	2 7. 4
作業室	1 1 9	1 5 7	4 6	3 2 2	3 0. 9
日常生活訓練室	1 4 0	1 2 1	5 2	3 1 3	3 0. 1
合 計	1, 8 3 6	2, 2 0 0	9 8 6	5, 0 2 2	4 8. 2

*利用率＝利用回数／（開館日数（347）×3）×100

2) 無料室

(単位：件)

室 名	午 前	午 後	夜 間	合 計	利用率(%)
ミーティングルーム1	2 8 6	2 9 5	1 7 4	7 5 5	7 2. 5
ミーティングルーム2	2 7 2	2 9 4	1 6 7	7 3 3	7 0. 4
ミーティングルーム3	3 1 0	2 9 8	1 1 7	7 2 5	6 9. 6
福祉団体共用ルーム	2 2 2	2 5 1	1 4 0	6 1 3	5 8. 9
福祉情報製作室	1 4 0	9 5	4	2 3 9	2 3. 0
録音室	3 0	3 2	1	6 3	6. 1
合 計	1, 2 6 0	1, 2 6 5	6 0 3	3, 1 2 8	5 0. 1

*利用率＝利用回数／（開館日数（347）×3）×100

3) 施設見学受入状況

(単位：件・人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
件 数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	3
人 数	0	0	0	0	0	0	33	0	0	0	88	0	1 2 1

4) 登録団体の状況

登録団体数	1 5 1 団体
-------	----------

内、障害者団体 7 3 団体、ボランティア団体 7 1 団体、その他団体 7 団体（法人団体等）

5) 温水プール事業

a) 開館日数

(単位：日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日 数	25	25	25	25	25	25	26	24	23	23	23	26	295

b) 利用者の状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
大 人	1546	1729	1953	2564	2631	1999	1752	1359	1066	1135	1169	1415	20, 318
子ども	395	468	608	1062	1072	392	327	224	207	230	216	289	5, 490
高齢者	1785	1847	2035	2239	2323	2222	2122	1779	1679	1622	1634	1842	23, 129
障害者	1843	2147	2387	2460	2480	2365	2168	1777	1625	1604	1707	1918	24, 481
合 計	5569	6191	6983	8325	8506	6978	6369	5139	4577	4591	4726	5464	73, 418

c) 利用者別利用率

	大 人	子 ど も	高 齢 者	障 害 者	合 計
人 数 (人)	20,318	5,490	23,129	24,481	73,418
利用率 (%)	27.7	7.5	31.5	33.3	100

d) 水泳教室開催状況

教 室	開 催 日 程	開催回数	参加者延べ人数
障害者水泳教室	5月11日～ 6月22日	7回	67組108人
	10月12日～11月30日	7回	86組134人
	1月18日～ 3月 1日	7回	62組 95人
障害児親子水泳教室 (幼児)	5月13日～ 6月24日	7回	38組 76人
	10月 7日～11月18日	7回	82組164人
	1月20日～ 3月 3日	7回	74組148人
障害児(者) 親子水泳教室 (小・中・高校生)	5月14日～ 6月25日	7回	112組224人
	10月 8日～11月19日	7回	96組192人
	1月14日～ 3月 4日	7回	100組200人
小学校低学年 水泳教室(障害児の部)	5月11日～ 6月22日	7回	66人
	10月 5日～11月16日	7回	60人
	1月18日～ 3月 1日	7回	63人
小学校高学年 水泳教室(障害児の部)	5月13日～ 6月24日	7回	92人
	10月 7日～11月18日	7回	89人
	1月20日～ 3月 3日	7回	87人
水泳教室 (障害者の部)	5月11日～ 6月22日	7回	139人
	11月 2日～12月21日	7回	138人
	1月18日～ 3月 1日	7回	151人
水中運動教室 (障害者の部)	9月14日～10月26日	7回	124人
高齢者 初級水泳教室	5月11日～ 6月22日	7回	114人
	10月 5日～11月16日	7回	100人
	1月18日～ 3月 1日	7回	113人
一般初心者水泳教室	10月 7日～11月18日	7回	19人
中高齢者中級水泳教室 (クロール・背泳ぎ)	5月13日～ 6月24日	7回	70人
	1月20日～ 3月 3日	7回	85人
アクア ウォーキング教室	5月12日～ 6月23日	7回	210人
	9月 8日～10月27日	7回	210人
	11月10日～12月22日	7回	217人
	1月19日～ 3月 2日	7回	213人
水中体操教室	5月12日～ 6月23日	7回	214人
	9月 8日～10月27日	7回	217人
	1月19日～ 3月 2日	7回	184人
水中トレーニング教室	11月10日～12月22日	7回	171人
水中アクアビクス教室	5月12日～ 6月23日	7回	214人
	9月 8日～10月27日	7回	212人

チャレンジ水泳	11月10日～12月22日	7回	211人
	1月19日～3月2日	7回	203人
	8月3日～8月5日	3回	44人
	3月29日～3月31日	3回	37人
リフレッシュ講座	4月14日～4月28日	6回	172人
	7月14日～8月25日	6回	201人
	3月9日～3月30日	8回	220人
スイミングセミナー	年間	10回	121人
合 計		295回	6,122人

③福祉図書コーナーの運営

4階福祉図書コーナーに、福祉関係図書約4,850冊、ビデオ約900本、DVD約140本、その他関係資料を設置し、市民が自由に閲覧・視聴できるように管理運営を行っている。

また、地域福祉情報の拠点として、福祉情報の収集・整理を行い、適切に市民に提供できる体制づくりを進め、市民から寄せられる多岐にわたる福祉情報に関する相談・質問に応じた。

*開所日時 月曜日～日曜日（第2日曜日、年末年始は休室） 午前9時～午後5時30分

*現在登録者数 1,216人（平成29年3月末日現在）

*おはなしサロン（6/18、12/10）

*啓発事業

手話講習会

体験教室（アイマスク・白杖・点字）

*コーナー利用状況

開所日数	来所者数
347日	10,604人

*ライブラリー利用状況

登録者数（新規）	書籍貸出数	ビデオDVD貸出数
190人	2,917冊	21本

*相談利用状況（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

来所相談件数	電話相談	相談総数
81件	6件	75件

④車いす貸し出し状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
貸出台数（台）	13	9	12	9	4	15	16	14	13	4	12	5	126
貸出件数（件）	13	9	10	9	4	12	13	12	12	4	8	4	110

*車いす総保有台数 5台（自走車 3台、介助車 2台）

⑤各種相談事業の開催

*ふくし相談

高齢者の介護や障害を持つ方の生活問題等、福祉全般の相談に応じた。

・相談日時 月曜日（奇数週） 午後1時～4時 ・相談員（福祉相談員）1人

・開設日数 25日 ・相談件数 4件

*会館相談

・相談日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時30分 ・相談員（会館職員）

・開設日数 244日 ・相談件数 36件

*心の健康相談

心の健康に関するさまざまな問題や不安等の悩みについて、精神保健福祉士及び臨床心理士が

面接相談に応じた。

- ・相談日時 毎週金曜日 午後1時～4時
- ・相談員 2人
- ・開設日数 48日
- ・相談件数 76件

*父子家庭相談員設置事業

父子家庭が日常生活において直面する家事・育児・教育・経済問題などに対して、必要な情報提供、社会資源の活用など適切な助言を行い、父子家庭の福祉の増進を図ることを目的に相談に応じた。

相談員数	相談件数	相談内容
8人	5件	・父子家庭での子育てについて ・生活問題、生活上の悩みについて

*要介護老人家族の相談員設置事業

寝たきりや認知症高齢者を介護する方の日常生活に直面する課題に対して、社会資源の活用など適切な助言を行い、要介護老人とその家族の福祉増進を図ることを目的に相談に応じた。

相談員数	相談件数	相談内容
12人	695件	・日常の介護の悩みについて ・介護技術、介護用品、福祉サービスの利用等について

⑥各種事業の開催

*ラポール福祉講座

月 日	内 容	参加者数
7 / 1	◎いきいき講座 歌体操教室（全3回）	18人
7 / 8	「リズム・歌に合わせて体操」	16人
7 / 15	講師：いきいき歌体操HAND 吉岡 京子 氏 他	18人
9 / 29	◎子育て応援講座 わくわく教室（全3回） 1. 楽しく子育て・孫育て（妊婦さんと祖父母になる方対象） 「現代の子育てと一昔前の子育ての違いを立場の違い今の親世代と祖父母世代がともに学び、相互理解を深める」 講師：助産師 長岡 千代 氏・永富 遼子 氏	延べ 19組
10 / 20	2. 楽しくわらべうたマッサージ（生後3～6ヶ月児対象） 「わらべうたに合わせて、歌いながら赤ちゃんをマッサージし、触れ合いをとおして親子のコミュニケーションを深める」 講師：助産師 田賀 日登美 氏・長岡 千代 氏	
10 / 25	3. 楽しく親子ヨガ（首が座ったところから1歳くらい対象） 「ヨガを通して親子のスキンシップとコミュニケーションを図る」 講師：助産師 上田 麻紀子 氏・菅澤 順子 氏	
11 / 25	◎災害に備える心得 「地域での防災体制～今、地震が起きたら～」 講師：枚方寝屋川消防本部 予防部 地域防災向上センター	21人
3 / 23	◎やさしい介護術 「介護による精神的・肉体的負担の軽減」 講師：枚方市社会福祉協議会 在宅福祉課 松本 智之 氏他	15人

＊ラポール市民講座

月 日	内 容	参加者数 (延べ)
5/6～6/24	ヨガ連続講座 8回(昼間) 講師：NPO法人日本YOGA連盟 先川 秀子 氏	156人
10/11～11/29	太極拳教室 8回 講師：大阪武術太極拳連盟 普及指導員 岸本 康宏 氏	149人

(福祉図書コーナー啓発事業)

月 日	内 容	参加者数
7/28	「親子福祉体験教室」 「当事者の話やアイマスク、白杖、点字等の体験を行う」 講師：図書コーナースタッフ	3家族 8人
2/20 27	「手話講習会」 「簡単なあいさつやこれから手話を習いたいという方への入門編」 講師：図書コーナースタッフ	15人 15人

＊ボランティアセンターとの共催事業（ボランティア活動推進事業で記載）

＊ラポールいこいのミニライブ開催状況

グループ・サークルが日頃の練習成果を披露し、観客と膝と膝を合わせた一体感ある手作りライブを開催し、市民交流の場と位置づける。また、総合福祉会館の啓発を行い、新たな利用者の発掘を行う。

(開催状況)

月	回数	内 容
4	2	キーボード弾き語り・ポップス&フォーク
5	3	フラダンス・ウクレレ演奏・ギター弾き語り・ハーモニカ演奏
6	3	リコーダーによるクラシック演奏・ポピュラーソング演奏・三味線
7	3	キーボード弾き語り・歌とフルート演奏・ギター演奏
8	3	ハワイアン音楽・弾き語り・ハーモニカ演奏
9	3	ハーモニカ演奏・チェロ演奏・キーボード弾き語り
10	3	ギター弾き語り・ポピュラーソング演奏・ポップス演奏
11	3	歌とハーモニカ演奏・ハーモニカ演奏・マンドリン演奏
12	3	ギター弾き語り・オカリナ演奏・キーボード弾き語り
1	1	フラダンス
2	3	新舞踊・ポピュラーソング演奏・ハーモニカ演奏
3	3	ポップス&フォーク演奏・キーボード弾き語り・歌とギターとハーモニカ演奏

会場は1階正面玄関エレベーター前で開催。

⑦運営委員会開催状況

月 日	内 容	出席者数
10/7	・委員長・副委員長の選出について ・指定管理の事業について ・平成28年度総合福祉会館上半期の運営状況について ・その他	13人
2/21	・平成28年度総合福祉会館下半期の運営状況について ・前回の運営委員会での懸案事項について	12人

	・平成29年度事業計画について ・その他	
--	---	--

⑧研修事業の実施

職員の資質並びに利用者サービスの向上・安全管理の面から下記の研修会を実施。また、関係機関が実施した研修会等にも参加。

月 日	内 容	参加者数
5 / 16	接遇・人権研修	47人
6 / 12	温水プール従業員研修	21人
11 / 13	温水プール従業員研修（普通救命講習Ⅰ）	13人
3 / 13	普通救命（AED）講習会	24人